

業 務 概 要

— 平成28年度のまとめ —

京都府立京都学・歴彩館

(旧京都府立総合資料館)

1	新たな施設整備に向けた取組(経過)	1
2	「京都府立京都学・歴彩館」設置 (H28.12.1)	6
	※目次項目 16、17、18 に「京都学・歴彩館」設置後の概要を記載	
3	利用者、資料収集・所蔵状況(全体概要)	9
	(1) 利用者等の状況	9
	(2) 館蔵資料の収集・所蔵状況	9
4	展示、講座等、情報発信の取組	10
5	新聞掲載	13
6	京都府行政文書修理事業	14
7	資料の収集・整理・保存	14
	(1) 図書資料	14
	(2) 文書資料	19
	(3) 管理委託現物資料	24
	(4) デジタル化資料	25
8	調査	25
	(1) 古文書	25
	(2) 行政文書	25
9	閲覧	26
	(1) 図書資料	26
	(2) 文書資料	29
	(3) 管理委託現物資料	31
10	東寺百合文書	31
	(1) 展覧会	31
	(2) シンポジウム	31
	(3) 百合通信の発行	31
	(4) 東寺百合文書翻刻	31
11	共同研究等	31
	(1) 大学等研究機関との共同研究	31
	(2) 大学学外授業等の受入れ	32
	(3) 共同研究会(京都学推進課)	32
	(4) その他(館外講座 再掲)	33
12	図書館実習・インターンシップ	33
13	館蔵資料の撮影と複写	33
14	資料の貸与	34
	(1) 図書資料	34
	(2) 文書資料	35
	(3) 管理委託現物資料	35
15	図書館間相互貸出	37
	(1) 府内公共図書館等	37
	(2) 国立国会図書館	37
16	施設の状況	38
17	組織・業務分担・予算	39
	(1) 組織	39
	(2) 職員数	40
	(3) 業務分担	40
	(4) 予算状況(平成29年度当初予算)	42
18	平成28年度の主な活動	43
19	沿革	44
	(参考) 館蔵資料の国宝等指定一覧(平成29年3月31日現在)	50

1 新たな施設整備に向けた取組(経過)

府立総合資料館は、京都に関する歴史、文化、産業、生活等の諸資料を総合的に収集し、これを整理・保存して、閲覧に供し、又は展示することにより、府民の調査研究等に一般に供することを目的として、昭和38(1963)年に設置されました。

平成19(2007)年以降、施設の老朽化、総合資料館の機能や取り巻く環境の変化等を踏まえ、より一層府民の皆様のご期待に応えうる施設となるよう、館の果たすべき役割・機能のあり方を見据えながら、次のとおり、新たな施設整備を進めて参りました。

府立総合資料館は、平成28年9月をもって閉館し、平成28年12月に府立京都学・歴史館として、生まれ変わりました。

◆ 「総合資料館あり方検討プラン」(平成19年度策定)の概要

○ 新たな総合資料館の基本コンセプト

「京都に関する資料を収集・保存・提供する施設」として、京都と日本の学術・文化の振興に貢献するとともに、だれもが身近に利用できる施設として府民ニーズに応える。

○ 基本コンセプト実現のために担うべき5つの役割

- ① 京都に関する歴史・文化関係資料の収集・保存とデータベースの構築
- ② 京都に関する専門研究の振興
- ③ 生涯学習等の支援
- ④ 次世代の教育支援
- ⑤ ネットワーク機能の強化

○ 新たな施設整備

府立大学をはじめとする大学等の研究機関や周辺施設等と連携しながら、所蔵資料の価値を最大限府民に還元できるよう、北山地域において新たな施設整備を図る。

◆ 「総合資料館基本構想」(平成20年度策定)の概要

○ 基本方針

- ① 京都に関する過去・現在について調べることのできる施設として、創設以来蓄積してきたノウハウを十分に発揮し、京都に関する資料を的確に収集・保存し、後世に確実に継承するとともに、引き続き、収集・整理・提供に努める。
- ② 新資料館の基本姿勢、性格を明確にするため、収集・保存・提供に関するガイドラインを策定し、公表する。

○ 重点事項

- ① 京都に関する資料の収集・保存と積極的活用
- ② 公文書館機能の充実
- ③ 研究・学習・教育支援とネットワーク機能の強化
- ④ 北山地域のなかの総合資料館

○ その他検討を要する課題

① 効率・効果的な運営

- ・ 閉館日、開館時間、資料提供方法等の検討を進め、公表
- ・ 外部評価機関による評価・指導や協働・協力組織の育成

② 設置根拠等の整備

- ・ 新資料館設置条例、組織体制、名称・愛称

◆ 北山文化環境ゾーン整備推進についての検討報告(平成21年度策定)の概要

北山地域が、府民が憩いやすらぐ場として、また、文化・環境・学術の交流発信拠点となるよう、将来像の基本的方向性『街区構想』を描く。

△ 街づくりのコンセプト

- 文化と環境に包まれたやすらぎと交流のなかで、京都を世界に発信する街
- 開放感あふれ、歩いてまわりたくなる街

△ 機能を整える視点(北山地域のエリアイメージ)

38ヘクタールもの広大な地域を、交通や人の流れ、周辺環境等を総合的に考慮し、次の5つのエリアに分け、そのイメージに沿った街づくりを進めることで、地域のポテンシャルを最大限に引き出す。

- 感じる(文化) 主として北山通から近い地域
- 学ぶ(学術) 主として北山通から遠い地域
- やすらぐ(環境) 主として植物園地域
- 憩う(親水) 主として賀茂川沿い地域
- ふれあう(交流) 主として北山通沿い地域

△ 総合資料館と府立大学とが連携する新施設の整備の方向性

新資料館については、府立大学等との連携を格段に強化するとともに、「北山文化環境ゾーン整備推進」全体の観点から府立大学施設の一部との合同整備を進める。

- 新施設(新資料館、府立大学文学部研究室・附属図書館等)は、京都の歴史・文化に関する資料を収集・保存・調査・研究するとともに、広く一般に提供し、その調査・研究や学びを支援し、国内外に情報を発信する拠点とする。

- ① 「国際京都学センター」(資料館内)を設置し、全国的・国際的交流と情報発信の拠点とする。

<国際京都学センター>

- ・ 高度な「京都学」の構築・研究のコーディネーター
- ・ 京都研究の啓発・普及・支援活動の拠点
- ・ センター設置に不可欠な総合資料館と府立大学(文学部研究室・附属図書館)の合同整備

② 連携強化による他の新たな機能の発揮

- ・ 府立大学との連携強化により、双方の資料等の一層広範で利便性に富む府民提供方法の開発
- ・ 京都調査・研究に関するレファレンスの積極的展開
- ・ 府民との一層多様な研究・学習交流の場の提供
- ・ 双方の特性を活かした院生や学生対象の各種教育プログラムの共同開発と社会人への提供等

③ 新総合資料館の新たな機能の展開

- ・ 資料館「基本構想」で提案された4機能の基本方向の具体化と体制整備
- ・ 府立大学、府立植物園等との連携の具体化
- ・ 府立の図書館、郷土資料館等関係機関との連携の推進方策を具体化（可能なものから実施）

◆ 北山文化環境ゾーン整備委員会検討結果(平成21年度)概要

△ 新施設(新総合資料館、府立大学文学部・附属図書館の合同(1施設)整備)

- 「国際京都学センター」の設置による全国的・国際的交流と情報発信
 - ・ 京都に係る「知」の更なる深化(共同研究の推進)
 - ・ 京都しらべ・学習環境の充実・強化
- 総合資料館・府立大学文学部・附属図書館連携による機能・府民サービス向上
 - ・ 京都関係資料の収集・保存・提供、研究・学習・教育の充実・拡大
 - ・ 閲覧ワンフロア化と利用期間・時間拡大による府民サービスの向上
 - ・ 府民等の知的関心・活動への支援強化
 - ・ 施設規模 24,000㎡程度
- 3大学(府立医大、府立大、京都工芸繊維大)教養教育共同化施設
 - ・ 3大学教養教育共同カリキュラム、3大学連携研究・ゼミ等の実施・学生等の交流
 - ・ 医科大学医学科・看護学科の教養教育の機能移転(研究室、実習室、講義室等)
 - ・ 施設規模 9,000㎡程度

◆ 新たな施設整備に向けた対応(平成22年度)概要

- 公募型設計競技の実施に向けた「新総合資料館(仮称)設計競技要項・設計条件(案)」の作成
 - ・ 新館は、「国際京都学センター」、府立大学文学部・附属図書館との複合施設
 - ・ 閲覧ワンフロア化をはじめとする諸形態・設計条件等について本庁・府立大学と調整
- 国際京都学センター設立準備委員会設立協議(本庁・府立大学との共同)
 - ・ 同センターのコンセプト、機能、体制等の検討

- 「京の記憶ライブラリ」の構築
 - ・ 総務省交付金を活用し、「京の記憶ライブラリ」システムの構築と東寺百合文書をはじめ約10,000点の資料をデジタル化した上で、従来の「京都北山アーカイブズ」を加え、「知デジ京都」としてリニューアル
 - ※ 「京の記憶ライブラリ」：キーワード、カテゴリー検索により画像等を検索・表示・印刷するシステム（23.4.1～館内運用、23.7.1～インターネット配信）

- ◆ 新たな施設整備に向けた取組（平成23年度）概要
 - 建築設計コンペ、基本設計、埋蔵文化財調査実施
 - 設計業者との協議（本庁、府立大学との共同）
 - 館内にハード検討チームを設置し、公募型設計協議により決定された設計業者と新資料館、国際京都学センターに係る平面プランについての協議を行った。
 - ① 新資料館部門：閲覧、展示、収蔵等の各施設の基本構造及び設備
 - ② 国際京都学センター部門：京都学ラウンジ、講堂、セミナー室等の基本構造及び設備
 - 国際京都学センター設立準備に係る協議（本庁、府立大学との共同）
 - ・ 同センターのコンセプト、機能、体制等の検討
 - ・ キックオフ事業の検討・予算化（国際シンポジウム、研究プロジェクト）
 - 統合データベース構築に係る検討・協議
 - ・ 京都の歴史・文化に関する発信拠点となるべく、館蔵資料（60万点）の管理・検索・閲覧できるシステムの構築に向けた検討・予算化
 - 所蔵資料に係る目録の電子データ化
 - ・ 緊急雇用対策事業を活用し、準貴重書、行政文書、古文書の電子目録を作成

- ◆ 新たな施設整備に向けた取組（平成24年度）概要
 - 基本・実施設計、埋蔵文化財調査実施
 - 設計業者との協議（本庁、府立大学との共同）
 - ・ 前年度から引き続き館内にハード検討チームを設置し、設計業者と新資料館、国際京都学センターに係る平面プランについての協議を行った。
 - 文化庁との協議
 - ・ 文化財保護法第53条第1項ただし書の規定に基づく公開承認施設として必要な要件等について文化庁と協議を行い、収蔵庫及び展示室等について実施設計の一部見直しを実施した。
 - 統合データベース構築に係る仕様案の作成
 - ・ 館蔵資料の管理・検索・閲覧できるシステムの構築に向けた仕様案を作成
 - 所蔵資料に係る電子データ化
 - ・ 東寺百合文書のデジタル画像（5,494点、22,988コマ）を作成
 - ・ 緊急雇用対策事業を活用し、準貴重書、行政文書、古文書の電子目録を作成

◆ 新たな施設整備に向けた取組（平成25年度）概要

- 本体建築工事着工
- 設計・機械・設備業者との協議（本庁、府立大学との共同）
 - ・設計・機械・設備業者と新資料館、国際京都学センターに係る施工図面についての協議を行った。
- 文化庁との協議
 - ・文化財保護法第53条第1項ただし書の規定に基づく公開承認施設として必要な要件等について文化庁と協議を行い、収蔵庫及び展示室等について実施設計の一部見直しを実施した。
- 統合情報システム構築に係る仕様書の作成
 - ・館蔵資料の管理・検索・閲覧できるシステムの構築に向け、情報提供依頼（RFI）を行い、仕様書に反映
 - ・ユネスコ世界記憶の登録に向け、東寺百合文書Web公開システムを構築し、約44,000画像をインターネットで公開
- 所蔵資料に係る電子データ化
 - ・東寺百合文書のデジタル画像（13,210点、58,139コマ）を作成
 - ・緊急雇用対策事業を活用し、準貴重書、行政文書、古文書の電子目録や地方新聞等のデジタル画像を作成

◆ 新たな施設整備に向けた取組（平成26年度）概要

- 本体建築工事実施（掘削、躯体工事）
- 設計・機械・設備業者との協議（本庁、府立大学との共同）
 - ・設計・機械・設備業者と新資料館、国際京都学センターに係る施工についての協議を行った。
- 文化庁との協議
 - ・文化財保護法第53条第1項ただし書の規定に基づく公開承認施設として必要な要件等について文化庁と協議を行い、収蔵庫及び展示室等について協議を行った。
- 所蔵資料に係る電子データ化
 - ・東寺百合文書WEBにデジタル画像を全点公開
- 「京都の記憶遺産デジタルアーカイブ事業」の開始
 - ・古文書、行政文書、地図、写真資料、貴重書等のデジタル画像を作成
- 統合情報システムの構築
 - ・京都府立大学、京都府立医科大学と、共用の図書システムを構築、運用開始
 - ・古文書・博物系・行政文書システム及び統合検索システムの構築

◆ 新たな施設整備に向けた取組（平成27年度）概要

- 本体建築工事実施（躯体工事、内装工事、外構工事）

- 文化庁との協議
 - ・文化財保護法第 53 条第 1 項ただし書の規定に基づく公開承認施設として必要な要件等を確認するため収蔵庫及び展示室等について文化庁と協議を行った。
 - 所蔵資料に係る電子データ化
 - 古文書・博物系・行政文書システム及び統合検索システムの構築、運用開始
 - 「京の記憶アーカイブ」の公開
 - ・古文書、行政文書、写真資料、貴重書等のデジタル画像をはじめ、様々なコンテンツの公開
 - ・公開デジタル画像の CC-BY による提供の開始
 - UHF 帯 IC タグによる資料管理体制の整備
- ◆ 新たな施設整備に向けた取組（平成 28 年度）概要
- 本体建築工事完成（躯体工事、内装工事）
 - 設備工事等実施（電動式集密書架等収蔵設備、展示音響設備、ブラインド等設置、大ホール椅子等）
 - 文化庁との協議
 - ・文化財保護法第 53 条第 1 項ただし書の規定に基づく公開承認施設として必要な要件等を確認するため収蔵庫及び展示室等について文化庁と協議を行った。
 - 所蔵資料に係る電子データ化
 - 「京の記憶アーカイブ」の公開・推進
 - UHF 帯 IC タグによる資料管理体制の整備

2 「京都府立京都学・歴彩館」設置（H28.12.1）

◆ オープニング記念式典・記念講演会

京都学・歴彩館オープニング記念事業として実施しました。

◆ 展示、シンポジウム等

○ 展示会の開催

本年度は、京都学・歴彩館一部オープン後に、開館記念として、次の 1 件の展示をしました。

会 期	展 示 名	場 所
平成28年12月26日（月） ～平成29年3月30日（木）	開館記念「京都府所蔵品にみる 京焼・美の探求」	京都学・歴彩館 1階展示室

○ オープニング記念講演会

京都学・歴彩館オープニング記念事業として実施しました。

開催状況

年月日	内容	参加者数
平成28年 12月23日(祝)	○記念講演 東京大学名誉教授・前文化庁長官 青柳正規氏 「文化芸術立国への道、京都から」	614人

○ 東寺百合文書シンポジウム

ユネスコ「世界の記憶」〈世界記憶遺産登録〉の「東寺百合文書」は、その人類史的な価値は言うに及ばず、そこには私たちが学ぶべき“日本の歴史”が克明に記録されています。多くのひとに往時の社会や暮らしを知ってもらい、私たちの歴史を“楽しみながら学ぶ”場として、新たに一部開館した京都学・歴彩館大ホールで「東寺百合文書シンポジウム」を開催しました。

年月日	内容	参加者数
平成29年 2月18日(土)	ひらけ! 歴史の玉手箱 古文書から見える「昔ニッポン」 ○基調講演「紙の上に歴史が立ちのぼる」(門井 慶喜氏) ○「東寺百合文書」プレゼンテーション(山本 琢:当館職員) ○パネルディスカッション (門井 慶喜氏、鳥羽 重宏氏、三光寺 由実子氏、末吉 敬子氏、小森 浩一:当館職員、北村 敏泰氏(司会)) ○主催 京都学・歴彩館、朝日新聞社、中外日報社	305人

○ 国際京都学シンポジウム「京の武士と町衆—洛中洛外図の時代—」

京都学・歴彩館オープニング記念事業として実施しました。

国際京都学シンポジウムの開催状況

年月日	内容	参加者数
平成29年 3月19日(日)	1 記念講演 シドニー大学准教授マシュー・スタブロス氏 「足利義満と中世京都の空間戦略」 基調講演 立命館大学名誉教授 川嶋將生 氏 「初期洛中洛外図屏風にみる町衆の様相～商業的側面への着目～」 2 パネルディスカッション パネリスト: マシュー・スタブロス氏、川嶋將生氏 三枝暁子氏 (東京大学大学院人文社会系研究科准教授) コーディネーター: 山田邦和氏 (同志社女子大学現代社会学部教授)	330人

○ 京都を学ぶセミナー「洛北編」

平成27年度に国際京都学プロジェクトとして行った「洛北の文化資源」研究プロジェクトの成果を分かりやすく解説する「京都を学ぶセミナー【洛北編】」を3回開催しました。

京都を学ぶセミナーの開催状況

年月日	内 容	参加者数
平成29年 1月27日(金)	<p><第1回></p> <p>1 講演 京都府立大学文学部教授 菱田哲郎氏 「よみがえる足もとの歴史—植物園北遺跡にみる賀茂の古代—」</p> <p>2 交流会 京都学ラウンジで、参加希望者が講師と金田館長を交えて意見交換を行った後、館内の植物園北遺構を歩くオプションツアーを実施</p>	<p>講演 140人</p> <p>交流会 40人</p>
平成29年 2月10日(金)	<p><第2回></p> <p>1 講演 総合地球環境学研究所教授 阿部健一氏 「賀茂川の水が運ぶ歴史と文化—自然をふたたび文化に、文化をふたたび自然に—」</p> <p>2 交流会 京都学ラウンジで参加希望者と講師や金田館長を交えて意見交換</p>	<p>講演 153人</p> <p>交流会 16人</p>
平成29年 3月10日(金)	<p><第3回></p> <p>1 講演 京都府立大学文学部准教授 藤本仁文氏 「上賀茂神社の江戸時代① —賀茂の葵と徳川綱吉—」</p> <p>2 交流会 京都学ラウンジで参加希望者と講師や金田館長を交えて意見交換</p>	<p>講演 136人</p> <p>交流会 13人</p>

○ 陽明文庫講座「陽明文庫所蔵『源氏物語』をめぐって」

京都学・歴彩館一部オープニング記念事業として実施しました。

陽明文庫講座の開催状況

年月日	内 容	参加者数
平成29年 2月5日(日)	<p>1 講演 公益財団法人陽明文庫常務理事・文庫長 名和修氏 「近衛家の『源氏物語』諸本について」</p> <p>2 講演 大阪大学名誉教授 伊井春樹氏 「陽明文庫本重要文化財『源氏物語』の読みの楽しみ」</p>	402人

3 利用者、資料収集・所蔵状況(全体概要)

(1) 利用者等の状況(平成28年9月14日から移転作業のため閉館) 【総合資料館】

事 項	利用者数等	事 項	利用者数等
開館日数	155 日	総合資料館府民講座	38人
		シンポジウム等	1,164人
閲覧室等利用者数	35,852人	古文書解説講座 (28年度 未開催)	- 人
図書閲覧室	19,633人		
文書閲覧室	1,539人	古文書相談	10件
古文書	540人	展覧会(28年度 未開催)	- 人
行政文書	909人	資料の特別撮影・利用 (管理委託現物資料を含む)	296件 1,378点
写真資料	0人		
近代文学資料	14人	資料の複写(電子式複写・デジ タル画像プリント等)	5,341件 112,757枚
その他	76人		
学習室	14,680人	資料の館外貸与 (管理委託現物資料を含む)	35件 ※1 270点(冊)
図書の書庫出納冊数	24,180冊		
図書資料の相談件数	6,016件		

※1 図書資料については、冊数で算出

(2) 館蔵資料の収集・所蔵状況

資料区分		平成28年度受払状況						累計 (平成29年 3月31日現在)	
		受入					払出		計
		購入	寄贈	取得	保管換 移 管 引渡等	計			
図書資料	図書資料	832	3,144	1,254	-	5,230	117	5,113	381,635冊
	その他※1	-	-	-	-	-	797	▲797	1,728点
	小 計	832	3,144	1,254	-	5,230	914	4,316	383,363冊(点)
文書資料	古文書※2	2	595	290	1	888	-	888	129,330点
	行政文書	-	-	-	1,870	1,870	-	1,870	89,839点
	写真資料	-	51	-	-	51	-	51	71,643点
	近代文学資料	-	-	-	-	-	-	-	23,788点
	その他※3	-	-	-	-	-	-	-	256点
小 計	2	646	290	1,871	2,809	-	2,809	314,856点	
管理委託 現物資料※4	美術工芸資料	-	221	-	-	221	-	221	10,821点
	歴史民俗資料	-	3	-	-	3	-	3	18,942点
	その他※5	-	88	-	-	88	-	88	23,261点
	小 計	-	312	-	-	312	-	312	53,024点
合 計		834	4,102	1,544	1,871	8,351	914	7,437	751,243冊(点)

※1 レコード、版木ほか。

※2 古文書の点数は、平成13年度から、詳細目録により算定した数値に変更した。

※3 鳥類はく製、京都府旧公印ほか。

※4 管理委託現物資料は、京都府京都文化博物館を運営する公益財団法人京都文化財団に管理委託した美術工芸資料等の現物資料である。

※5 吉川観方コレクション、江馬務コレクションほか。

4 展示、講座等、情報発信の取組

◆ 展示

○ 館外での展示

本年度、館外において、次の1件の展示をしました。

会 期	展 示 名	場 所
平成29年3月1日(水) ～4月23日(日)	ユネスコ「世界の記憶」東寺百合文書展 —人・物・情報が行き交う中世—	京都文化博物館 2階総合展示室 京の至宝と文化

○京都府施策に関連するものや社会的に話題となった事柄をテーマに、所蔵資料を紹介する「資料紹介コーナー」を実施し、利用者の注目を集めました。

期 間	資料紹介コーナー名	場 所
平成28年 5月12日(木) ～6月7日(火)	「絵本太閤記に見る真田幸村周辺の人々」	総合資料館 2階閲覧室
平成28年 6月9日(木) ～9月13日(火)	「森の京都～豊かな自然の恵み～」	

◆ 講座等

(1) 総合資料館府民講座

平成14年度から外部講師や当館職員により、歴史や伝統文化、館蔵資料紹介等のテーマで「総合資料館府民講座」を開催してきました。

本年度は2回開催し、受講者数は延べ38人でした。

年月日	演 題・講 師	会 場	受講者数
平成28年 8月4日(木)	寺子屋講座「学ぼう！江戸の算術～算木(さんぎ)を使ってみよう～」	総合資料館 2階会議室	17人
平成28年 10月29日(土)	寺子屋講座「京都の歴史を歩こう！—紫野編—」	紫野地区	21人
合 計			38人

(2) 古文書入門教室・歴史資料解説講座

本年度は、新館への移転作業のため開催しませんでした。

(3) 古文書相談

古文書相談は、相談者に来館していただいて直接対応したり、郵送で対応したりしていますが、そのうち、郵送での対応は10件でした。

(4) 館外での講座

本年度は、館外において、次の3件の講座を実施しました。

年月日	演題・講師	会場	参加者
平成28年 5月12日(木)	『明治・大正の府庁界限などー近代の黎明 「あさが来た」の時代～大正大礼(1915)ー』 卓話 若林 正博(当館職員)	ホテルルビノ 京都堀川・ブ ロバスクラブ 京都	50人
平成28年 11月5日(土)	「地方紙と業界紙から探る 戦後京都のプ ロ野球興行-大陽ロビンス、松竹ロビンスを 中心として-」若林 正博(当館職員)	朝日カルチャ ーセンターく ずは教室	18人
平成28年 12月4日(日)	「乙訓における戦前の鉄道計画～新京阪山 科線と洛西線～」若林 正博(当館職員)	向日市文化資 料館	86人

◆ シンポジウム等

(1) ファイナルギャラリートーク

新館への移転に伴って総合資料館が53年の歴史に終止符を打つにあたり、長年資料館を愛し利用いただいた方々、資料館を支え続けていただいた近隣住民の方々等へ、これまでの感謝の想いを込め、『ありがとう資料館「感謝の集い」』を実施しました。

その第一部として、最終日の午後16時45分から、当館職員と参加者によるギャラリートークを行いました。

年月日	内容	参加者数
平成28年 9月13日(火)	「館蔵資料がつなぐ“過去の記録と未来の創造”」 ・コーディネーター井口和起(当館顧問・福知山公立大学学長) ・「琵琶湖疏水からポケモンGO!まで」松田万智子(当館職員) ・「京都の今を残し伝えるとは」若林 正博(当館職員) ・「京都府立総合資料館と古文書」岡本 隆明(当館職員) ・「資料を人・地域に開き、発信する-資料館には理系の図書もあるんです」藤原 直幸(当館職員) ・フロア参加者からの意見トーク	100人

同時開催：ファイナル館内ツアー 参加者38人

Ⅱ部ファイナルコンサート

出演者：葉 衛陽(中国琵琶)、張 連生(二胡)、沈 兵(楊琴)、
橋本 岳人山(尺八)、奥田 八代以(竹笛)、
池谷 京子(歌手)、monko(シンセサイザー)

(2) 地域史シンポジウム

本年度は、新館への移転作業のため開催しませんでした。

◆編集・刊行

平成28年度に編集・刊行した刊行物は次のとおりです。

- ① 「資料館紀要」第45号 A5判 90頁
 - ・若林正博 京阪六地蔵線と新京阪洛西線—昭和初期の京都近郊の鉄道計画—
 - ・京都府立大学文学部日本・中国文学科 故新免安喜子氏寄贈書の概要
- ② 「総合資料館だより」No.187～189
 - No.187 (平 28. 4. 1) 8頁
 - ・嵐山の桜
 - ・文献課の窓から「写真に写った戦前の建築物について
～商工貯金銀行細手支店についての調査～」
 - ・歴史資料課の窓から「え、寺院も御家人役を負担するの!?!」
 - ・最近の資料収集から
 - ・友の会事務局から、利用案内等
 - No.188 (平 28. 7. 16) 10頁
 - ・「京都府立京都学・歴彩館」が誕生します。
 - ・文献課の窓から「京都関係雑誌の中から」
 - ・歴史資料課の窓から「佐藤辰三・佐藤旭撮影写真資料」
 - ・新収蔵資料の紹介「藤原範親置文(東寺百合文書 り函 266号)」
 - ・最近の収集資料から
 - ・京都府立京都学・歴彩館にむけて、平成28年度の事業予定について等
 - ・講座案内、利用案内等
 - No.189 (平 28. 9. 1) 10頁
 - ・53年間ありがとうございました!
 - ・館長あいさつ
 - ・閉館イベント『ありがとう資料館「感謝の集い」』
 - ・文献課の窓から『「森の京都」にちなんで』
 - ・歴史資料課の窓から「戦後の農地開拓 -緊急開拓事業-」
 - ・最近の収集資料から
 - ・講座、利用案内等
- ③ 東寺百合文書 第12巻り函一(平成28年10月1日)

◆ホームページ

平成14年7月19日に開設した当館のホームページでは、休館日・所在地等の利用案内、講座・展覧会等の各種行事案内、館蔵資料の概要等を紹介しています。

- 平成18年10月5日に創刊した「総合資料館メールマガジン」は、隔週水曜日に発行。配信状況は下記のとおりです。

メールマガジン配信状況（平成28年4月～平成28年9月末）

号数	配信日	部数	号数	配信日	部数	号数	配信日	部数
第249号	4月13日	680	第254号	6月22日	684	第259号	8月31日	677
第250号	4月27日	683	第255号	7月6日	684	第260号	9月14日	678
第251号	5月11日	684	第256号	7月20日	669	第261号	9月30日	676
第252号	5月25日	684	第257号	8月3日	667			
第253号	6月8日	684	第258号	8月17日	679			

◆資料館友の会の活動

資料館が開館した翌年の昭和39年、当館の事業に協賛する方々によって、組織された「資料館友の会」は、53年の永きにわたり、館の各種事業をはじめ京都の伝統文化や産業にご理解いただくとともに応援をしていただきました。

京都府立京都学・歴彩館のグランドオープンを機に平成29年4月18日解散。総会により活動終了。終了時の会員数178名（これまでの延会員数6041名）

5 新聞掲載

年月日	新聞名	見出し
H28. 5月21日	京都新聞	遊びをせんとや・75 戦国時代劇の素材にも（「常山紀談」）
6月21日	京都新聞	府立総合資料館 9月14日に閉館
7月16日	京都新聞	遊びをせんとや・77 植物図鑑そのむかし（「草木圖説」）
8月4日	京都新聞	夢幻軌道を歩く-4 新京阪鉄道山科線
8月25日	京都新聞	夢幻軌道を歩く-5 京阪六地蔵線
9月13日	京都新聞	ファイナル 館内ツアーや所蔵品トーク
9月14日	京都新聞	府立総合資料館に別れ
	京都新聞	53年の歴史に幕 府立資料館が閉館
9月16日	京都新聞	東寺百合文書調査 最大の功績 閉館の府立総合資料館
	京都新聞	京都学、新拠点で世界へ発信
9月17日	京都新聞	閉館 未来の創造、職員語る 来年度にオープン「歴彩館」につなぐ
9月29日	産経新聞	国宝「東寺百合文書」「信長禁制」を複製再現 総合資料館に寄贈
11月19日	京都新聞	遊びをせんとや・81 若冲や京野菜に思いはせ（「拾遺都名所図会」）
12月5日	京都新聞	幻の「洛西・山科線」解説 向日 戦前の鉄道計画テーマ
12月7日	京都新聞	府整備の京都学研究拠点 歴彩館 23日一部開館
12月24日	京都新聞	京都学の新拠点誕生
H29. 2月18日	京都新聞	遊びをせんとや・84 複雑化した中国の鶴亀算（「張丘建算経」）
3月1日	産経新聞	「藤原範綱置文」を初公開 東寺百合文書展で3月1日から
3月10日	朝日新聞	埋もれた歴史、ひもとく記憶 シンポ「ひらけ！歴史の玉手箱」 世界記憶遺産「東寺百合文書」
	京都新聞	東寺百合文書展
3月18日	京都新聞	遊びをせんとや・85 摺物工の仕事、今に（「都の魁」）

6 京都府行政文書修理事業

平成 14 年に都道府県行政文書として初めて国の重要文化財に指定された「京都府行政文書」(京都府立庁前年(慶応3年)から昭和 21 年度までの 15,407 点)について、適切な保存と積極的な利・活用を図るため、損傷等の修理を行いました。

今年度は明治期の学校関係資料を中心に12点の修理を行ったほか、108点の資料に経常的な手当を行いました。

7 資料の収集・整理・保存

当館では、京都に関する資料等を総合的に収集・整理・保存していますが、資料の種類と内容は次のとおりです。

- ・図書資料(資料課(旧文献課))
図書、逐次刊行物、パンフレット等の印刷物(写本、原稿、書簡、写真、マイクロフィルム等を含む。)及びこれに準ずる資料
- ・文書資料(資料課(旧歴史資料課))
古文書、行政文書、写真資料等
- ・管理委託現物資料

(1) 図書資料

本年度に収集した資料冊数は、次のとおりです。

区分	購入(冊)	寄贈(冊)	取得等(冊)	計(冊)
京都資料	430	1,261	493	2,184
人文資料	149	960	216	1,325
官庁資料	京都関係	71	631	1,187
	国・他府県	182	292	534
合計	832	3,144	1,254	5,230

そのうちの主な資料は、次のとおりです。

ア 京都資料

書名	著編者等	備考
京都実相院門跡	宇野日出生編集	購入
平安京の地域形成	西山良平, 鈴木久男, 藤田勝也編著	
秋里籠島と近世中後期の上方出版界	藤川玲満著	
学びやタイムスリップ : 近代京都の学校史・美術史	和崎光太郎, 森光彦執筆 ; 京都市学校歴史博物館編	

<p>山・鉾・屋台行事：祭りを飾る民俗造形 カラスと京都 京の酒学 京都三山石仏・石碑事典 近世京焼の考古学的研究 「あいさつ言葉」の魅力：京言葉を起点として</p>	<p>植木行宣，福原敏男著 松原始著 吉田元著 網本逸雄著 角谷江津子著 寺島浩子著</p>	
<p>明治前期の京都新聞史：木版印刷から活版印刷へ 上 下 橋逸勢と空海：下桂御霊神社誌 西賀茂大將軍神社とその祭礼行事 晴れてよし、降ってよし、いまを生きる 京都佛光寺の八行標語 橋辨慶町帳箱の舞く文書 歴史の眠る里わが山科 丹後国遷政 丹後国 1300 年記念事業記録集 おおきに、二〇年：公益財団法人京都伝統伎芸振興財団創立二〇周年記念誌 マシラ 藤井勘圀画集 秦恒平選集 1-17 巻 私家版</p>	<p>樋口康彌 [著] 北川あきら [著] 中井幸比古著 佛光寺著 那須明夫著 飯田道夫著 与謝野町教育委員会 京都伝統伎芸振興財団 藤井勘圀著 秦恒平著</p>	寄贈
<p>外国籍府民向け防災ガイドブック：ベトナム語版 京二中鳥羽高ものがたり：創立 115 周年記念 学校要覧 歴史に向き合う未来を見据える 国宝観智院客殿修理工事報告書 重要文化財旧三井家下鴨別邸主屋ほか二棟修理工事報告書 丹後の紙漉き：和紙と生きる人びとのあゆみとゆくえ 京野菜ランド MAP：美味しい京野菜と出会えるお店 京都やましろスイーツマップ = Kyoto Yamashiro sweets map JR 奈良線のこれまでを振り返って：開業 120 周年を記念して</p>	<p>京都府国際センター 藤田雅之著 京都府立盲学校 [編] 京都府教育庁指導部文化財保護課編 京都府教育庁指導部文化財保護課 京都府教育庁指導部文化財保護課 京都府立丹後郷土資料館編 京都府農林水産部 京都府山城広域振興局商工労働観光室 京都府 [ほか] 編</p>	取得

イ 人文資料

区分	書名	著編者等	備考
参考	図書館ハンドブック 第6版補訂2版 読書世論調査 2016年版 全国学校総覧 2017年版 礼服 天皇即位儀礼や元旦の儀の花の装い 日本庭園の歴史と文化 古語大鑑 第2巻 か～さ	日本図書館協会編 毎日新聞東京本社広告局刊 全国学校データ研究所編 武田佐知子, 津田大輔著 小野健吉著 築島裕[ほか]編	購入
	「図書館と出版」を考える 九州国立博物館史 開館10周年記念 名古屋城天守閣特別展 和紙 近代和紙の誕生 万年筆の生活誌	日本書籍出版協会図書館委員会著・編 九州国立博物館刊 名古屋城総合事務所編 奈良国立博物館編 国立歴史民俗博物館編	寄贈
	IFLA 公共図書館サービスガイドライン 理想の公共図書館サービスのために 日本の川を甦らせた技師デ・レイケ	クリスティー・クーンツ, パーバラ・グビン編 上林好之著	取得
宗教・歴史	報徳仕法と近世社会 義科厩談 庫阿止観 (續天台宗全書 論草3) 私心記 (大系真宗史料 文書記録編 10) 飛鳥史跡事典 中世日本海の流通と港町 織豊期主要人物居所集成 第2版 資本主義日本の歴史構造	早田旅人著 真宗史料刊行会編 木下正史編 仁木宏・綿貫友子編 藤井讓治編 石井寛治著	購入
	「戦没者慰霊」と近代日本 殉難者と護国神社の成立史 海を渡った祈りと踊り 袋中上人とエイサー 享保十四年、象、江戸へゆく 「華族爵位」請願人名辞典	白川哲夫著 佛教大学宗教文化ミュージアム編 和田実著 松田敬之著	寄贈
	弘法大師と高野参詣 高野山開創1200年記念 明智光秀(史料で読む戦国史3)	和歌山県立博物館編 藤田連生・福島克彦編	取得

美術・芸能・写真	京都花鳥風月：写真集 近代日本水彩画一五〇年史 図案からデザインへ：近代京都の図案教育 Dhaka : Photographs from Bangladesh, April-July 2015. 2. 2 日本彫刻史基礎資料集成 鎌倉時代 造像銘記篇12 平安密教彫刻論 日本近現代陶芸史 若冲の花	水野克比古, 水野秀比古著 瀬尾典昭編著 並木誠士, 松尾芳樹, 岡達也著 山内道雄編 水野敬三郎編纂者代表 津田徹英著 外館和子著 朝日新聞出版編	購入
	兵庫県立美術館所蔵作品選 頼山陽を愛した女流画人平田玉蘊 肉筆浮世絵 美の競艶 シカゴウェストンコレクション 画家たちと戦争 彼らはいかにして生きぬいたのか 名古屋市美術館特別編 ドラッカー・コレクション珠玉の水墨画：「マネジメントの父」が愛した日本の美 禅：心をかたちに：臨濟禪師一一五〇年白隠禪師二五〇年遠諱記念 川端彌之助と春陽会の仲間たち 日本衣装絵巻：卑弥呼から篤姫の時代まで ニキ・ド・サンファル展 風景画の誕生：ウィーン美術史美術館所蔵 全国映画資料館録 2015 信楽への眼差し 能楽の現在と未来（能楽研究叢書：5）	兵庫県立美術館編 広島県立歴史博物館編 内田和浩, 小川智史編 山田諭, 中村暁子, 保崎裕徳編 松尾知子編 京都国立博物館, 東京国立博物館, 日本経済新聞社文化事業部編 星野桂三, 星野万美子編 福井勝博 [ほか] 編 国立新美術館, NHK, NHKプロモーション編 Bunkamuraザ・ミュージアム編 東京国立近代美術館フィルムセンター編 滋賀県立陶芸の森編 山中玲子編	寄贈
	東京に於ける百貨店・画商の日本画展観 三木翠山展	東京美術倶楽部編 姫路市立美術館編	取得

ウ 官庁資料

区分	書名	著编者等	備考
京都関係	京都市人権レポート 京都市人権文化推進計画に基づく事業報告書 はばたけ未来へ！京（みやこ）プラン 後期実施計画 2016-2020	京都市文化市民局くらし安全推進部人権文化推進課 [編] 京都市総合企画局市長公室, 行財政局財政部経営改革課, 行財政局財政部財政課 [編]	寄贈
	京都市の商業 平成26年商業統計調査結果報告	京都市総合企画局情報化推進室情報統計担当編	
	城陽市東部丘陵地整備計画 見直し版 宇治田原町まち・ひと・しごと創生総合戦略	城陽市 [編] 宇治田原町企画・財政課 [編]	
	木津川市文化財保存活用基本計画 水・緑・歴史が薫る文化創造都市をめざして 第5次綾部市総合計画後期基本計画 2016-2020 住ん	木津川市教育委員会編 綾部市編集	

	<p>でよかった…ゆったりやすらぎの田園都市・綾部 宮津市教育振興計画 織りなす人の手帖 与謝野町合併10周年記念町勢要覧</p>	<p>宮津市 [編] 与謝野町</p>	
	<p>宇治茶の文化的景観 世界遺産暫定一覧表記載資産候補に係る提案書 概要版 改定版 府税のしおり 平成28年度 京都府統計書 平成26年 共に理解し共に働くこれからの障害者雇用 障害者への差別の禁止と、合理的配慮について 京都府教育振興プラン つながり、創る、京の知恵 平成28年度改定版 京都府立洛南病院開院70周年記念誌 京都府中小企業製造業の現状・ねじ製造業調査報告書 2015</p>	<p>京都府農林水産部農産課 [編] 京都府総務部税務課編 京都府政策企画部調査統計課編 京都府商工労働観光部総合就業支援室 [編] 京都府教育委員会 [編] 京都府立洛南病院編 京都府中小企業技術センター [編]</p>	取得
国	<p>日本国勢図会 日本がわかるデータブック 2016/17 社会保障統計年報 平成28年版 子供・若者白書 平成28年版 守ります人と自然とこの地球 2016 (気象業務はいま) 数字でみる航空 2016 観光の実態と志向 国民の観光に関する動向調査 第34回 (平成27年度版)</p>	<p>矢野恒太記念会編 国立社会保障・人口問題研究所編 内閣府編 気象庁編集 国土交通省航空局監修 日本観光振興協会編</p>	購入
	<p>この10年の歩み 内閣制度130周年記念史 平成十八年-平成二十七年 全国知事・市町村長ファイル 2015-2016 国民生活時間調査 データブック 2015 海岸昇降検知センター潮位年報 平成26年 サービス産業動向調査年報 平成27年</p>	<p>内閣制度130周年記念史編集委員会編 地方行政調査会編 NHK放送文化研究所編 海岸昇降検知センター編 総務省統計局編集</p>	寄贈
	<p>地価公示 平成28年 国民医療費 平成26年度 近畿の運輸行政 2015</p>	<p>[土地鑑定委員会編] 厚生労働省大臣官房統計情報部編 近畿運輸局広報推進委員会企画・編集</p>	取得

エ 雑誌・新聞等

京都関係、日本の歴史、美術工芸、伝統的芸能、官庁関係等の雑誌類及び新聞類を次のとおり収集し、所蔵しています。

区 分	総 数	継続購入数
京 都 関 係	3,212	4
一般(歴史・美術・官庁等)	2,893	90
京 都 官 庁 関 係	787	—
計	6,892	94

(2) 文書資料

ア 古文書

(7) 収集

本年度、収集した古文書は、次のとおりです。

区分	文書群名 (資料名)	形態	目録 点数	資料概要 (地域)	資料概要 (年代)	資料概要 (内容/特記)	備考
古代・中世	東寺百合文書 レプリカ	複製物	13			博物館施設等が作成して、当館に寄贈された東寺百合文書のレプリカ。	取得
近世・近代	京都府国宝等修繕関係書類	古文書	1	京都市・向日市	大正 7 年 (1918)	国宝をはじめとする仏像・神像彫刻等の修理に関する書類。	移管 (区分換)
	丹波国船井郡穴人村地改帳	古文書	1	南丹市園部町	寛永 18 年 (1641)	丹波国船井郡穴人村(現在の南丹市園部町穴人)の寛永18年(1641)の土地改(検地帳)。	購入
	山城国八郡高附帳	古文書	1	山城[愛宕郡・葛野郡・乙訓郡・紀伊郡・宇治郡・久世郡・綴喜郡・相楽郡]	天保 10 年 (1839)	近世後期の山城国全郡 418 カ村について、各村ごとに領主別の石高をまとめた高附帳。	購入
	田中氏旧蔵資料	古文書	2	京都市	明治 2 年 (1869)	明治 2 年(1869)に京都に設置された留守官からだされた御達書。	寄贈
	平川家文書	古文書	4	京都市	文政期前半 (1820年代)～ 慶応 3 年	京都西町奉行所同心平川家の資料。	取得
	太政官制札	その他	1	福知山市	慶応 4 年 (1868)	明治新政府の最高官庁である太政官が民衆に対して新たに出した禁止令「五榜の掲示」の内の第 1～3 を記した制札。	取得

近世・近代	版木	その他	3	京都市上京区	明治初期	明治8年(1875)頃に上京区で交付された「地券検査証」の版木および同区用紙の版木、「京都府収税部共有地明細簿」の版木。	取得
	元吉町文書	古文書	6	京都市東山区	嘉永5年(1852)～明治16年(1883)	京都市東山区元吉町の明治初期の状況(住人の移動や職業、宅地の様子等)のわかる資料等6点。	寄贈
	伊佐津村川北家文書	古文書	398	舞鶴市伊佐津	宝暦4年(1754)～大正5年(1916)	舞鶴市伊佐津村の庄屋であった川北藤右衛門家に伝来した資料。	寄贈
	武永常太郎関係資料	古文書	37	京都市/小田原・東京ほか	明治8年(1875)～昭和10年(1935)	日本の電気事業草創期の技師として、京都をはじめ小田原・東京・大分・岩手・福井と日本各地の電気鉄道及び電力事業の発展に貢献した武永常太郎氏に関する資料。	寄贈
	平安義会資料	古文書	125	京都市	明治16年(1883)～昭和47年(1972)	平安義会で作成保存されていた明治16年(1883)から昭和40年代までの資料。	寄贈
	旧桜橋財団関係資料	古文書	26	京都市	明治42年(1909)～昭和42年(1967)	旧桜橋財団で作成保存されていた明治42年(1909)から昭和42年(1967)迄の資料。	寄贈
	平安義会資料・乙	古文書	1	京都市			寄贈
	梶田家文書・乙	古文書	14		明治期	宮大工であった梶田家に伝わったもの。明石城や知恩院等、建築物を中心とした明治期の写真。	取得

近世・近代

滝野家文書	古文書	14		天保6年(1835)～大正7年(1918)	丁子屋町(中京区二条通り麩屋町東入)の滝野家に伝来した文書。	取得
淀藩士馬淵家文書	古文書	22		文化5年(1808)～安政6年(1859)	淀藩士馬淵家に伝来した資料、安政6年「武器覚帳」、大坪本流の馬術に関する資料ほか。	取得
法制資料	古文書	32		明治期	ドイツ始め外国の制度や法令、旧藩の法制度、刑法の資料など。	取得
両部曼荼羅古本	古文書	17		明治期	御室版曼荼羅図の木版本16点及び摸写本1点。	取得
永田長左衛門家文書	古文書	42		明治6年(1873)～明治29年(1896)。	永田長左衛門家は下京区花屋町西洞院西入で古くから仏教書出版を営む老舗。版權や出版届、受取証等、明治期の出版に関する一連の事務書類。	取得
武芸関係資料	古文書	26		近世期	弓道の日置流の一派である竹林流の秘伝書を中心とした武芸に関する資料	取得
相撲勝負付	古文書	10		嘉永7年(1854)～明治11年(1878)	「相撲勝負付」(本来刷り物)の手書写。	取得
図書館旧蔵諸記録写本	古文書	50			戦前の図書館が購入収集したと思われる多様な記録写本類。	取得
図書館旧蔵書画関連資料	古文書	36			戦前の図書館が購入収集したと思われる多様な記録写本類。	取得
蜷川知事遺品	古文書	7		昭和13年(1938)～昭和24年(1949)	元京都府知事であった蜷川虎三氏に関わる資料。京都府知事になる以前の辞令、中国渡航の	取得

					ための書類等。	
榎村正直二行書	古文書	1			第2代京都府知事榎村正直の揮毫。	取得
京都府庁文書関連資料	古文書	10		明治2年(1869)～大正6年(1917)	明治初期「京都府職員辞令」、明治5年天皇の「口達之覚(御沙汰書)」、大正6年「東宮大夫通達書」ほか、京都府庁文書に関連する資料。	取得
衆議院議員選挙公報	古文書	1		昭和12年	昭和12年の衆議院議員選挙の公報。	取得

文書複製資料の収集・所蔵状況

資料区分	平成28年度収集			累計(平成29年3月31日現在)		
	文書群数	マイクロフィルム (リール数)	写真帳 (冊数)	文書群数	マイクロフィルム (リール数)	写真帳 (冊数)
古文書	—	—	—	556	1,388	2,205
行政文書	—	—	—	10	84	1,043
合計	—	—	—	566	1,472	3,248

(4) 整理・保存

a 古文書の整理

本年度、整理した古文書は、次のとおりです。

区分	文書群名(資料名)	形態	目録点数	備考
近世・近代	京都府国宝等修繕関係書類	古文書	1	終了・公開
	丹波国船井郡宍人村地改帳	古文書	1	終了・公開
	山城国八郡高附帳	古文書	1	終了・公開
	田中氏旧蔵資料	古文書	2	終了・公開
	平川家文書	古文書	4	終了・公開
	太政官制札	古文書	1	終了・公開
	版木	古文書	3	終了・公開
	元吉町文書	古文書	6	終了・公開
	伊佐津村川北家文書	古文書	398	終了・公開

武永常太郎関係資料	古文書	37	終了・公開
平安義会資料	古文書	125	終了・公開
旧桜橋財団関係資料	古文書	26	終了・公開
平安義会資料・乙	古文書	1	終了・公開
梶田家文書・乙	古文書	14	終了・公開
滝野家文書	古文書	14	終了・公開
淀藩士馬淵家文書	古文書	22	終了・公開
法制資料	古文書	32	終了・公開
両部曼荼羅古本	古文書	17	終了・公開
永田長左衛門家文書	古文書	42	終了・公開
武芸関係資料	古文書	26	終了・公開
相撲勝負付	古文書	10	終了・公開
図書館旧蔵諸記録写本	古文書	50	終了・公開
図書館旧蔵書画関連資料	古文書	36	終了・公開
蟬川知事遺品	古文書	7	終了・公開
槇村正直二行書	古文書	1	終了・公開
京都府庁文書関連資料	古文書	10	終了・公開
衆議院議員選挙公報	古文書	1	終了・公開

b 古文書の燻蒸

本年度は実施していません。

イ 写真資料

(7) 収集

本年度は、寺田家旧蔵写真資料42点、平安義会旧蔵写真資料9点の51点を収集しました。

(4) 整理・保存

本年度、整理した写真資料は、次のとおりです。

寺田家旧蔵写真資料42点、平安義会旧蔵写真資料9点の51点の目録を完成

ウ 行政文書

(7) 収集

「京都府文書の保管、保存等に関する規程」第15条により永年保存文書の移管を、また、同規程第14条により有期限保存文書の引渡しを受けています。

本年度は、以下のとおり1,870点の行政文書を収集しました。

永年保存文書の移管	
完結年度	点数
平成2年度	1,457
過年度分(昭和26年度～平成元年度)	407
合計	1,864

有期限保存文書の引渡し	
完結年度	点数
平成17年度	6

(イ) 整理

平成28年度に移管を受けた永年保存文書については、目録の作成、請求番号の付与、書架への配架等を行い公開するとともに、所蔵する有期限文書についても目録の作成等により公開の準備を進めています。

文書の区分	作成目録	点数
永年保存文書（平成28年度移管分）	簿冊目録	1,864

(ウ) 保存

a 資料の保護

傷みの激しい文書や酸性劣化の恐れのある文書を中性紙の封筒及び専用保存箱に収納したり、データ化することにより代替物での閲覧提供を可能とすることで、文書の更なる損傷を予防するとともに、データのバックアップを行い、資料の安全な保存に努めました。

(3) 管理委託現物資料

京都府京都文化博物館を運営する財団法人京都文化財団に業務委託して収集した美術工芸資料は312点で、明細は次のとおりです。

部門	資料名	点数	区分	寄贈者名
美術 工芸 資料	歴史 内裏秘書写	1	寄贈	岡村 良恵
	日本画 復元コロタイプ複製 尾形光琳筆風神雷神 図、酒井抱一筆夏秋草図屏風	1	寄贈	鈴木 巧
	染織 「型紙(386点一式)」ほか	5	寄贈	鈴木 匠一
	日本画 榊原紫峰筆「南園の一隅に於ける曲と眠り」	1	寄贈	前島 克彦
	その他 大橋家関連資料一式 木島桜谷 葉書帖	22	寄贈	小吹 和男
	日本画等 大橋家旧蔵資料一式 榊原文翠 牡丹図ほか	280	寄贈	亡大橋俱子 相続財産管理人 弁護士 野崎 隆史
	染織 「型紙(461点一式)」ほか	2	寄贈	坪倉 秀幸
合計	7件	312点		

(4) デジタル化資料

本年度末時点での、デジタル化資料のインターネット公開状況は、次のとおりです。

データベース名	画像データ	公開時期
東寺百合文書WEB	約1.9万点	平成26年 3月～
京の記憶アーカイブ		
図書資料	約25.7万点	平成27年11月～
古文書	約2.1万点	
写真資料	約7.8万点	
美術工芸品他	約0.8万点	
行政文書	約2.7万点	

(平成29年3月31日現在)

8 調 査

(1) 古文書

本年度、調査した文書は次のとおりです。

区分	調査名	調査先	期 間	関連地域	概 要
近世・近代	所蔵資料概要調査	個人・来館	平成28年 4月26日	京都市北区	家蔵古文書の概要と保存方法等についての相談への助言
	所蔵資料概要調査	個人・来館	平成28年 5月25日	舞鶴市	家蔵古文書の概要と今後の扱いについての相談への助言
	所蔵資料概要調査	個人宅	平成28年 6月23日	京都市東山区	家蔵古文書の概要と今後の扱いについての相談への助言
	所蔵資料概要調査	個人・来館	平成28年 7月20日	京都市北区	家蔵古文書の概要と今後の扱いについての相談への助言
	所蔵資料概要調査	個人宅	平成28年 7月28日	京都市上京区	財団・団体所蔵の近代文書調査

(2) 行政文書

京都府文書の保管・保存等に関する規程に基づき、各課(室)から総務調整課に引き継がれた文書の内、保存期限が経過した有期限保存文書(平成7年度完結20年保存、平成17年度完結10年保存等)2,685点から6点を選別しました。

また、各課共用書庫に保管された平成22年度完結5年保存文書の内、保存年数が経過して廃棄対象となった有期限保存文書を調査しましたが、選別収集する文書はありませんでした。

9 関 覧

(1) 図書資料

ア 図書閲覧室

京都に関する専門的な調査研究のための閲覧室（旧総合資料館では290席）で、開架図書約5万冊を自由に利用できるほか、書庫内の図書資料は閲覧請求のうえ利用できました。本年度の利用者数は19,633人（1日平均127人）、書庫出納冊数は24,180冊でした。

イ 学習室

自習室で140席、本年度の利用者数は14,680人（1日平均95人）でした。

閲覧室等利用状況

年月	開館 日数	図書閲覧室		学 習 室		書 庫 出納冊数	図書資料の相談件数			
		（1日あたり）		（1日あたり）			件	口頭 件	電話 件	文書 件
		人	(人)	人	(人)					
28年4月	28	3,196	(114)	2,052	(73)	3,359	930	839	82	9
5	27	3,113	(115)	2,376	(88)	3,713	904	795	78	31
6	29	3,371	(116)	2,442	(84)	4,232	1,096	967	99	30
7	29	3,696	(127)	3,198	(110)	3,527	1,062	964	85	13
8	29	4,201	(145)	3,524	(122)	5,128	1,125	980	125	20
9	13	2,056	(158)	1,088	(84)	4,221	746	660	68	18
10	0	0	(0)			0	30	0	25	5
11	0	0	(0)			0	32	0	31	1
12	0	0	(0)			0	19	0	16	3
29年1月	0	0	(0)			0	14	0	14	0
2	0	0	(0)			0	32	0	31	1
3	0	0	(0)			0	26	0	24	2
計	155	19,633	(127)	14,680	(95)	24,180	6,016	5,205	678	133

※閉館中（H28.9.14～）も、資料の所蔵に関する問い合わせや、新館のオープンについての質問など、一部の相談には対応しました。

ウ 図書資料の相談

所蔵資料の有効な利用を図るため、資料の利用案内や調査・研究の支援等の相談業務を実施。図書閲覧室のカウンターでの相談のほか、電話・文書等による相談にも応じています。

本年度の相談状況は、次のとおりです。

	口頭	電話	文書	計
館利用案内	2,201	191	10	2,402
複写依頼	1,684	82	62	1,828
特定図書の所蔵調査	608	176	20	804
図書に関する書誌的調査	109	9	1	119
人名・地名等の読み方調査	17	2	5	24
人物・団体調査	78	19	13	110
内容調査	319	81	18	418
その他	189	118	4	311
計	5,205	678	133	6,016

〔相談事例〕

○伏見区にある美豆小学校の沿革を調べたい。特に、明治時代に行われた淀川改修工事の際に校舎が移転されたが、その詳しい経緯を知りたい。

【回答】

『淀川の歴史』のp117～118に、旧美豆小学校の明治41（1908）年までの沿革が述べられている。それによると、淀川の付け替え工事が行われたのは明治32（1899）年であり、旧美豆小学校の位置に新淀川が通ることになったため移転することになった、費用の関係のためか一括して移転することができず本校と分教場を別の場所に設けた、明治41（1908）年に義務教育の年限延長に伴い、本校の校舎を増築し分教場を吸収した、とある。

なお、同書のp141～145には、昭和9（1934）年の室戸台風による被害と、美豆小学校と明親小学校が合併するまで、さらに昭和60（1985）年に美豆小学校が開校するまでの経緯が書かれている。

○明治時代の根付師である日昇について知りたい。根付師の人名録のような資料はあるか。

【回答】

当館所蔵の根付に関する資料や工芸辞典、人名辞典などを調べたが、「日昇」は見つからなかった。なお、根付師の人名録については、『根付の研究』のp130～233、『日本の美術 No. 195 印籠と根付』のp94～97、『現代根付彫刻展 手のひらの小宇宙』の巻末のほか、『根付コレクションの研究 高円宮コレクションを中心に』の特に第三部第三章「高円宮コレクションの古根付」p136～157で、主な根付師が挙げられている。

○京都市バスの戦後からの運賃の変遷が知りたい。

【回答】

『市バス50周年』のp29「運賃の変遷」に、市バス開通の昭和3年から昭和51年までの運賃が掲載されている。p34～35「年表」にも運賃改定のあった年には新しい運賃が載っている。『五十年史（京都市交通広告協同組合）』には平成10年までの年表が載っており、運賃の改訂についても書かれている。『京都のバス白書』p18～19に、昭和3年から平成9年までの事業概要が載っており、改定運賃も載っている。

また、各年度に発行される『京都市交通事業白書』の巻末に掲載されている沿革等で、平成9年以降の運賃の変遷を確認できる。

○享保以前の京都の芝居小屋の位置がわかる絵図を見たい。

【回答】

芝居小屋を詳しく描いた絵図の原本は所蔵していない。『京都の歴史 6』の p203 に、寛政年間の四条芝居街の図が掲載されている。また、『京の歌舞伎展』の p49 にある「元禄期南座周辺復元模型全体配置図」では、南座周辺の芝居小屋の位置関係が図示されている。『新修京都叢書 8』所収の「扇額軌範」p486～488 の絵（延宝 4 年の絵馬）から芝居小屋のある四条河原の様子がわかるほか、『京の歌舞伎展』p10～11 と p14～17、『京都の歴史 6』p201～208、『新修京都叢書 8』p488 に、芝居小屋の変遷が書かれた文章がある。

○『京焼百年の歩み』の付表 1 の統計表の第三表の二「内地向、輸出向陶磁器生産比較（京都府）」記載以降の、昭和 30～48 年分が知りたい。

【回答】

『生産動態統計調査雑貨生産高及販売状況速報』（昭和 35 年 1 月分～36 年 4 月分）と『生産動態統計調査陶磁器集計結果報告書』（昭和 37～46 年）で、昭和 35 年 1 月～36 年 4 月分と昭和 38～46 年分をそれぞれ確認できる。

○GHQ により教職追放された京都府の人を調べたい。

【回答】

『戦後京都教育史年表 教育研究基礎資料』p9によると、「1947（昭和22）年8月22日 GHQ、教職員追放11万人発表」とある。『公職追放に関する覚書該当者名簿』はアルファベット順に人名が列挙され、それぞれ都道府県の記載はあるものの、求める「教職追放された京都府の人」のみを抽出するのは困難である。『新聞集成昭和編年史』の一

部の巻の事項索引には「教職員追放」があるので、それをもとに調査することは可能。また、『京都府教育史：戦後の教育制度沿革』のp352～354に、昭和25年度および昭和26年度における教職員適格審査状況の表があり、審査人数と適格／不適格者の人数が記載されている。

* 上記も含め当館で受け付けた相談事例の詳細は、

<http://www.pref.kyoto.jp/shiryokan/ref.html>で御覧いただけます。

エ 資料紹介コーナー

特定のテーマに関する図書や雑誌を集めた資料紹介コーナーを図書閲覧室に設け、館が所蔵する図書資料を広く紹介しました。

テーマ	期間
絵本太閤記に見る真田幸村周辺の人々	平成28年5月12日～6月7日
森の京都～豊かな自然の恵み～	平成28年6月9日～9月13日

オ 国会図書館デジタル化資料送信サービスの実施

平成27年11月12日から、国立国会図書館の提供するデジタル化資料送信サービスを開始しました。

平成28年度の利用状況は、利用申込21件、複写申込11件、97枚でした。

(2) 文書資料

文書閲覧室は、古文書、行政文書、写真資料及び近代文学資料の閲覧室で、35席ありました。閲覧室に配架してある東寺百合文書写真帳、京都府布令書や写真資料コピーを自由に利用できるほか、デジタル画像の閲覧(一部は閲覧申請が必要)が可能。また、書庫内の文書資料は閲覧申請のうえ利用できました。

本年度の利用者数は1,539人(1日平均10人)、書庫資料閲覧点数は10,992点(1日平均71点)でした。

ア 古文書の閲覧

(7) 古代・中世文書の閲覧

館蔵文書は東寺百合文書(原本)が、57人、183点でした。文書複製資料は東寺観智院聖教文書等が、43人、245点でした。その他閲覧室に配架している東寺百合文書写真帳の利用も含め、合計92人、424点の利用がありました。

(イ) 近世・近代文書の閲覧

館蔵文書は若杉家文書、中井家文書、古久保家文書等、寄託文書は谷口家資料、松岡家文書等、文書複製資料は本光寺文書等、合計448人、4,287点の利用がありました。

イ 行政文書の閲覧

学術調査研究を目的とする一般の閲覧者は769人で5,012点の利用がありました。

また、府職員等の公務上の閲覧者は140人で1,003点の利用があり、閲覧者の合計は909人、利用点数の合計は6,015点でした。

文書閲覧室の利用状況

年月	開館日数	利用 者 数									
		古文書			行政文書			写真資料	近代文学資料	その他	合計
		古代・中世	近世・近代	計	一般閲覧	公務	計				
(日)	(人)	(人)	(人)	(人)	(人)	(人)	(人)	(人)	(人)	(人)	
28年4月	28	12	54	66	101	12	113		1	12	192
5月	27	6	59	65	112	12	124		2	8	199
6月	29	10	51	61	123	24	147		1	13	222
7月	29	39	149	188	111	22	133		3	16	340
8月	29	12	66	78	162	21	183		5	16	282
9月	13	13	69	82	160	10	170		2	11	265
10月	0					5	5				5
11月	0					15	15				15
12月	0					5	5				5
29年1月	0					8	8				8
2月	0					3	3				3
3月	0					3	3				3
合計	155	92	448	540	769	140	909		14	76	1,539

年月	開館日数	書庫資料閲覧利用数								
		古文書			行政文書			写真資料	近代文学資料	合計
		古代・中世	近世・近代	計	一般閲覧	公務	計			
(日)	(点)	(点)	(点)	(点)	(点)	(点)	(点)	(点)	(点)	
4月	28	76	315	391	472	67	539		23	953
5月	27	77	250	327	652	99	751		51	1,129
6月	29	79	151	230	740	198	938		2	1,170
7月	29	57	772	829	663	132	795		50	1,674
8月	29	58	1,167	1,225	1,088	205	1,293		102	2,620
9月	13	77	1,632	1,709	1,397	46	1,443		38	3,190
10月	0					52	52			52

11月	0					93	93			93
12月	0					21	21			21
29年1月	0					51	51			51
2月	0					7	7			7
3月	0					32	32			32
合計	155	424	4,287	4,711	5,012	1,003	6,015		266	10,992

(3) 管理委託現物資料

京都府京都文化博物館を運営する財団法人京都文化財団に管理委託している美術工芸資料等の現物資料については、調査研究のため特に必要な場合、特別観覧に供しています。本年度は、合計4件、25点の特別観覧がありました。主なものは次のとおりです。

申請者の区分	部門	資料名	点数
個人	染織	展覧会準備のため	7
個人	日本画	調査研究のため	14
個人	日本画	展覧会調査のため	3
個人	日本画	調査研究のため	1

10 東寺百合文書

(1) 展覧会

「ユネスコ「世界の記憶」東寺百合文書展 ―人・物・情報が行き交う中世―」開催（再掲）

東寺百合文書の中から、中世を行き交う人・物・情報に関わる文書を通して、ネットワークや流通を中心に当時の社会の一端を紹介する展示を、京都文化博物館の総合展示室において行いました。

(2) シンポジウム

東寺百合文書シンポジウム「ひらけ！歴史の玉手箱 古文書から見える「昔ニッポン」」開催（再掲）

東寺百合文書を題材に、古文書を含めた古文化への興味・関心を一般化し、学びを通じて、その価値や保存・活用への理解を深めるシンポジウムを、朝日新聞社、中外日報社とともに開催しました。

(3) 百合通信の発行

東寺百合文書をより分かりやすく紹介し、親しみを持ってもらうため、「百合通信」10～11号を発行しました。

(4) 東寺百合文書翻刻 第12巻刊行(平成28年10月1日)

11 共同研究等

(1) 大学等研究機関との共同研究(再掲)

当館所蔵資料等について、平成14年度（平成13年度は共同の事前調査）から府立大学文

学部歴史学科との間で共同研究を行っています。本年度も、次のとおり、時代別研究を継続して行いました。

また、舞鶴市伊佐津村川北家文書、藤野大吉家旧蔵資料を対象とした古文書整理の実習を行いました。

◎時代別研究

時代	研究テーマ	対象資料	備考
近世	近世広域行政機関(京都町奉行等)文書の研究	「江戸表京都所司代当地御奉行より被仰出書諸留帳写」(館古437)	府立大学大学院講座「地域史研究」において対象資料を解読・分析

(2) 大学学外授業等の受入れ

各大学の史料購読などの学外授業等に協力し、文献資料、古文書、行政文書等の概要及び閲覧制度、資料の取扱いなどを説明した後、実際に資料原本の閲覧をしていただきました。

受入年月日	受入大学名	受入学生数
平成28年5月13日	京都ノートルダム女子大学	12名
平成28年6月7日	京都大学大学院	9名
平成28年7月5日	京都府立大学	50名
平成28年7月15日	京都府立大学	38名

(3) 共同研究会(京都学推進課)

平成27年度から文化政策課において実施されていた事業を引き継ぎました。府内の大学等と連携し、府内各地域に係る研究を推進します。京都の文化に関する研究の新たな可能性を広げ、文化資源を発掘、地域振興につなげていきます。

発足年度	研究会名	参加大学等	状況
27年度	洛北	京都府立大学、総合地球環境学研究所、京都工芸繊維大学、京都大学、京都精華大学、佛教大学、京都ノートルダム女子大学、京都産業大学、大阪府立大学	㉗研究 ㉘報告書及び一般書籍の発行
28年度	丹波	京都大学、同志社大学、立命館大学、京都工芸繊維大学、佛教大学、花園大学、京都学園大学、福知山公立大学、龍谷大学	㉙研究

(4) その他（館外講座 再掲）

- ・プロバスクラブ京都講師派遣 平成28年5月12日
- ・朝日カルチャーセンターくずは教室講師派遣 平成28年11月5日
- ・向日市文化資料館講師派遣 平成28年12月4日

12 図書館実習・インターンシップ

本年度は新館への移転作業のため、いずれも受け入れませんでした。

13 館蔵資料の撮影と複写

館蔵資料を調査研究、出版等に使用するための特別撮影及び利用は296件、1,378点でした。

また、館蔵資料の複写利用は5,341件、112,757枚でした。

特別撮影及び利用状況

資料種別	件数	点数
図書資料	32	161
文書資料	246	1,192
古文書	29	307
行政文書	211	870
写真資料	—	—
近代文学資料	6	15
管理委託現物資料	18	25
合計	296	1,378

複写状況

複写種別	図書資料		文書資料		合計	
	件数	枚数	件数	枚数	件数	枚数
電子式複写		白黒		7,829		104,909
		カラー		311		2,472
(撮影)	4,917	—	424	—	5,341	—
画像プリント		1,513		1,335		2,848
マイクロデータプリンター		2,037		394		2,431
国会図書館デジタル送信資料用端末による印刷		96				96
		1			1	
合計	4,917件	102,888枚	424件	9,869枚	5,341件	112,757枚

※撮影は、複写枚数に含まない。

14 資料の貸与

本年度、展覧会の展示等のため、次のとおり館蔵資料の館外貸与を行いました。

(1) 図書資料

本年度は、次のとおり、合計 6 件、112 点の貸与を行いました。

	貸与先及び展覧会等の名称	資 料 名	点数
1	京都府京都文化博物館 企画展 江戸の植物園	地錦抄附録 4 巻 増補地錦抄 8 巻 有毒草木圖説 2 編 千種之花 草花百種 扶桑百菊譜 残 1 巻 畫本野山草 残 1 巻 松葉蘭譜 築山庭造傳 人倫訓蒙圖彙 花壇綱目 3 巻 菊譜百詠圖 橘品 廣益地錦抄 8 巻 阿蘭陀本草圖經 時慶卿記	4 8 2 4 1 1 5 1 1 6 3 1 1 8 1 6
2	京都工芸繊維大学美術工芸資料館 京都の墨流し染・糊流し染 —その系譜と新たな可能性—	墨流し染寫本	1
3	細見美術館 生誕 300 年記念 伊藤若冲 京に生きた画家	平安人物志 (安永 4 年) 平安人物志 (明和 5 年)	1 1
4	京都府京都文化博物館 アートと考古学展 ～物の声を、土の声を聴け～	集古圖 22 巻	1
5	向日市文化資料館 秋のラウンジ展 弟国から乙訓へ ～地名でたどる歴史～	丹鶴叢書 倭名類聚抄 20 巻 山城志 10 巻 山城名勝志 21 巻 日本書紀 30 巻 新板伊勢物語 2 巻	12 5 6 4 8 2
6	京都府京都文化博物館 日本の表装 —掛軸の歴史と装い—	時慶卿記 座敷飾繪圖付口傳書 骨董集 實語教畫本 5 巻 都商職街風聞	10 1 5 1 1

(2) 文書資料

ア 古文書

本年度は、次のとおり、合計 8件、38点の貸与を行いました。

	貸与先及び展覧会等の名称	資料名	点数
1	鳥取市歴史博物館 平成28年度展覧会 「因幡と朝廷—平安時代の因幡国司—」	東寺百合文書	2
2	東京都江戸東京博物館 特別展「戦国時代展—A Century of Dreams—」	東寺百合文書	1
3	米沢市上杉博物館 特別展「戦国時代展—A Century of Dreams—」	東寺百合文書	1
4	岡山県立博物館 平成28年度特別展 「新見荘—中世荘園の記憶—」	東寺百合文書	25
5	大山崎町歴史資料館 第24回企画展 「堺と大山崎—自治都市の系譜—」	東寺百合文書	3
6	舞鶴引揚記念館 世界記憶遺産登録1周年記念企画展「世界記憶遺産展—日本の記憶遺産—」(前期)	東寺百合文書レプリカ	2
7	舞鶴引揚記念館 世界記憶遺産登録1周年記念企画展「世界記憶遺産展—日本の記憶遺産—」(後期)	東寺百合文書レプリカ	2
8	八幡市立松花堂庭園・美術館 国宝指定記念 特別展「石清水八幡宮をめぐる8つのエピソード」	中井家文書	2

イ 行政文書

本年度は、ありませんでした。

ウ 近代文学資料

本年度は、ありませんでした。

(3) 管理委託現物資料

京都府京都文化博物館を運営する公益財団法人京都文化財団に管理委託している美術工芸資料等の現物資料については、合計21件(120点)の貸与を行いました。主な貸与先等は次のとおりです。

	貸与先	展覧会の目的	部門	資料名
1	秋野不矩美術館	特別展「革新表現に挑む女流画家たち」への出陳のため	日本画	広田多津「舞妓」
2	内閣府迎賓館京都事務所	貴賓接待のため	日本画 ほか	上村松篁「花の中」 ほか
3	和歌山市立博物館	特別展「玉津島」に出展のため	日本画	西川祐信「衣通姫像」
4	学習院大学国際研究教育機構	国際シンポジウム「世界の中の日本美術」に出展のため	日本画	復元コロタイプ複製
5	京都大学総合博物館	「日本の表装」に出展のため	日本画	枯木鷹図ほか
6	京都府立丹後郷土資料館	企画展「お・か・ねー貨幣の歴史と虚実」に出展のため	考古	千本出水出土慶長金銀、同容器
7	静岡県立美術館	「徳川の平和」に出展のため	日本画	池大雅「柳下宣子図屏風」
8	内閣府迎賓館京都事務所	貴賓接遇のため	日本画	猪熊佳子「社の雫」 ほか
9	京都市美術館	特別展「三浦景生の染め 白寿の軌跡」のため	染織	三浦景生「去来」ほか
10	高岡市美術館	企画展「美の記憶」に出展のため	日本画	復元コロタイプ複製
11	読売新聞東京本社(京都国立博物館)	特別展「坂本龍馬」に出展のため	歴史	坂本龍馬書簡集
12	出雲文化伝承館	特別展「茶の器 向付と鉢 茶箱」に出展のため	陶芸	鏝絵染付舟形向付 ほか
13	笠岡市立竹喬美術館	「榊原紫峰展」に出展のため	日本画	榊原紫峰「南国の一隅に於ける曲と眠り」屏風
14	読売新聞東京本社	特別展「戦国時代展」に出展のため	日本画	狩野元信 繁馬図 絵馬
15	内閣府迎賓館京都事務所	貴賓接遇のため	日本画	川島陸郎「秋叢」
16	京都工芸繊維大学美術工芸資料館	「時を超えた伝統の技」に出展のため	日本画	復元コロタイプ複製
17	鳥取市歴史博物館	企画展「伊勢型紙の美」のため	染織	「黒縮緬地檜松文様小袖」ほか
18	京都府文化スポーツ部文化政策課	京都府立京都学・歴彩館記念の展覧のため	日本画	復元コロタイプ複製
19	澁谷和子	「澁谷和子展」のため	染織	澁谷和子「すみれ」 ほか
20	辰巳寛	「舞妓を描く 辰巳寛日本画展」に出展のため	日本画	辰巳寛「一力茶屋二階より」
21	中井敦子	「中井浩一遺作展」に出展のため	日本画	中井浩一「芹王の流れ」

15 図書館間相互貸出

(1) 府内公共図書館等

平成4年7月に開始した府内の公共図書館等との圖書の相互貸借については、本年度、7館、12冊の貸出し、1館、4冊の借受けを行いました。明細は次のとおりです。

(なお、9月14日から閉館しましたので、それ以降の相互貸出は行っていません)

貸借先館名	貸出冊数	借受冊数	貸借先館名	貸出冊数	借受冊数
京都府立図書館	-	4	綾部市図書館	2	-
京都市右京中央図書館	1	-	舞鶴市立西図書館	2	-
木津川市立加茂図書室	2	-	京丹後市立あみの図書館	3	-
亀岡市立図書館中央館	1	-	京都学園大学図書館	1	-
			計	12	4

(2) 国立国会図書館

昭和61年7月から国立国会図書館所蔵圖書の借受け・閲覧サービスを行っていますが、平成28年度の借受利用は、2件、4冊でした。

16 施設の状況

○平成29年3月31日現在（京都学・歴彩館）

敷地面積 116,932.79㎡
 建物面積 6,716.04㎡ 延 23,940.68㎡
 建設費 約100億円
 構造 鉄骨造 地上4階 地下2階

主要室の規模

1階	2階	地下1階	地下2階
学習室 160㎡	図書閲覧室 1,259㎡ (開架書庫含)	書庫・收藏庫 3,447㎡	書庫・收藏庫 3,517㎡
展示室 290㎡	府大閲覧室 2,012㎡ (書庫含)	撮影室 73㎡	
大ホール 511㎡			
小ホール 199㎡			
京都学 ラウンジ 151㎡			
京都学研究室 142㎡			
府大書庫等 177㎡			

○平成28年3月31日現在（旧総合資料館）

敷地面積 13,911.95㎡
 建物面積 4,501.57㎡ 延13,743.33㎡
 建設費 建物及び造園工事費 54,178万円 内部設備費 15,007万円
 計 69,185万円
 構造 鉄筋コンクリート 一部鉄骨 地上4階 地下1階

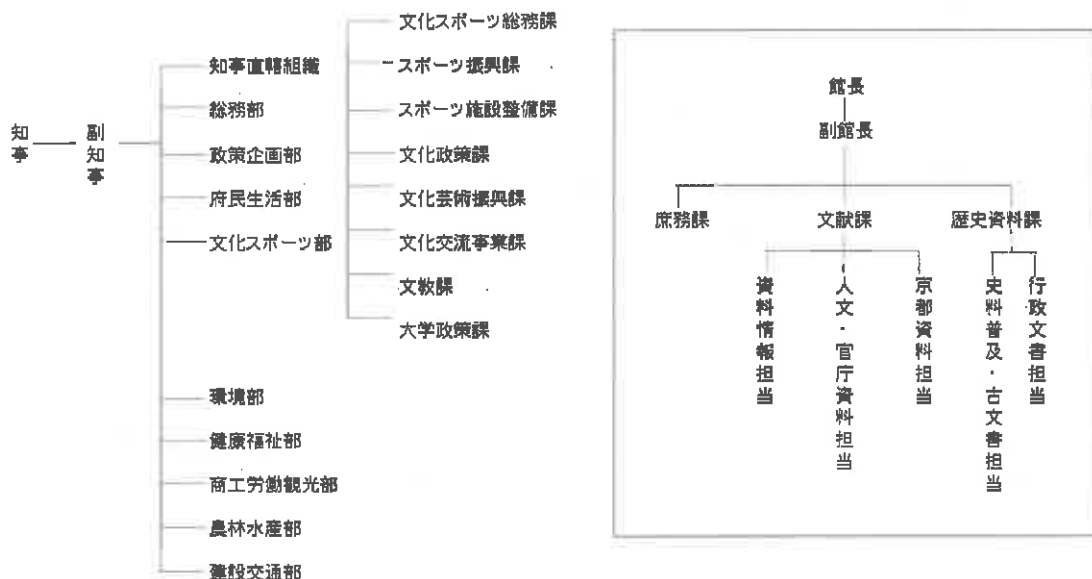
主要室の規模

1階	2階	3階	4階
学習室 189㎡	展示室 194㎡	図書閲覧室 975㎡	講堂 327㎡(350席)
書庫 1,089㎡	書庫 1,045㎡	文書閲覧室 85㎡	
風俗資料室 116㎡	收藏庫 478㎡	マルチメディアコーナー 65㎡	
收藏庫 1,014㎡	第三書庫 335㎡	收藏展示室 255㎡	

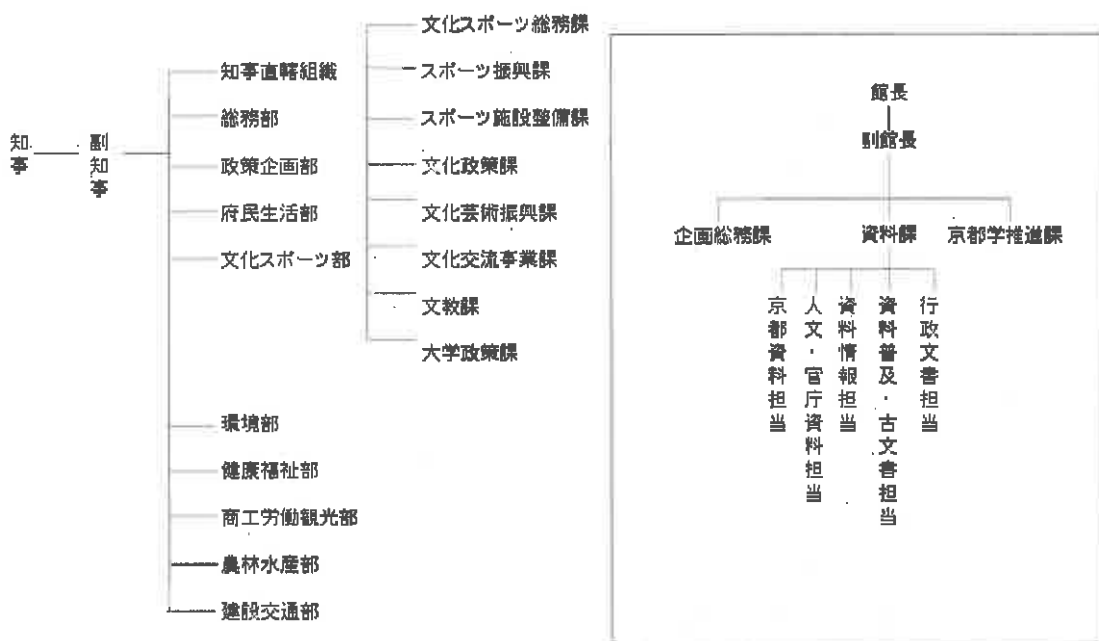
17 組織・業務分担・予算

(1) 組織

○平成28年4月1日現在（旧総合資料館）



○平成28年12月1日現在（京都学・歴史館）



(2) 職員数

○平成28年4月1日現在

	職 員 (再任用を含む)	嘱 託
館 長	1	-
顧 問	-	1
副館長	2	-
庶務課	10※	2
文献課	15	11
歴史資料課	10※	3
計	38	17

注 副館長は庶務課長事務取扱・歴史資料課長事務取扱であり、※の数に課長は含まない。

○平成28年12月1日現在

	職 員 (再任用を含む)	嘱 託
館 長	1	-
顧 問	-	1
副館長	2	-
企画総務課	10※	4
資料課	25	14
京都学推進課	2※	2
計	40	21

注 副館長は企画総務課長事務取扱・京都学推進課長事務取扱であり、※の数に課長は含まない。

(3) 業務分担

ア 平成28年11月30日まで（「京都府立総合資料館」）

(7) 庶務課

- 1 総合資料館の整備計画に関すること。
- 2 規程等の制定改廃に関すること。
- 3 人事、服務、給与及び勤務条件等に関すること。
- 4 広報及び文書事務等に関すること。

- 5 予算、決算及び会計事務に関すること。
- 6 財産の管理、運営及び庁舎の警備に関すること。
- 7 調査・研究機関との連携及び生涯学習事業の企画に関すること。
- 8 (公財)京都文化財団への業務委託及び総合資料館友の会に関すること。
- 9 保安業務に関すること。
- 10 他課の所管に属さないこと。
- 11 新館の整備に関すること

(イ) 文献課

- 1 図書等資料の収集、整理及び保存に関すること。
- 2 図書等資料の閲覧、利用及びレファレンスに関すること。
- 3 図書等資料の普及に関すること。
- 4 図書閲覧室及び書庫の管理運営に関すること。
- 5 関係機関との連絡調整に関すること。
- 6 新館の整備に関すること

(ウ) 歴史資料課

- 1 古文書、行政文書、写真資料及び近代文学資料の調査、収集、整理及び保存に関すること。
- 2 古文書、行政文書、写真資料及び近代文学資料の閲覧及び利用に関すること。
- 3 古文書、行政文書、写真資料及び近代文学資料の普及に関すること。
- 4 文書閲覧室及び文書庫の管理運営に関すること。
- 5 関係機関との連絡調整に関すること。

イ 平成28年12月1日から(京都学・歴彩館)

(7) 企画総務課

- 1 公印の保管に関すること。
- 2 規程等の制定改廃に関すること。
- 3 人事、服務、給与及び勤務条件等に関すること。
- 4 広報及び文書事務等に関すること。
- 5 予算、決算及び会計事務に関すること。
- 6 財産の管理、運営及び庁舎の警備に関すること。
- 7 調査・研究機関との連携及び生涯学習事業の企画に関すること。
- 8 (公財)京都文化財団への業務委託及び総合資料館友の会に関すること。

- 9 新館の整備に関すること
- 10 他課の所管に属さないこと。

(イ) 資料課

- 1 図書資料、古文書、行政文書、写真資料及び近代文学資料（以下「資料等」という。）の調査、収集、整理及び保存に関すること。
- 2 資料等の閲覧、利用及びレファレンスに関すること。
- 3 資料等の普及に関すること。
- 4 京都資料総合閲覧室及び各収蔵庫の管理運営に関すること。
- 5 関係機関との連絡調整に関すること。

(ウ) 京都学推進課

- 1 京都の歴史や文化に関する研究の推進に関すること。
- 2 府内の大学等との連携による府域の文化資源の共同研究に関すること。
- 3 国内外の大学等との連携による研究交流及び研究支援に関すること。
- 4 海外の若手研究者の招聘及び研究支援に関すること。
- 5 京都資料のデジタル閲覧に関すること。
- 6 各種講座、シンポジウム、セミナー等の開催に関すること。
- 7 研究成果の発信に関すること。
- 8 府内自治体との連携による府域の文化の紹介に関すること。
- 9 関係機関との連絡調整に関すること。

(4) 予算状況（平成29年度当初予算）

（単位：千円）

区 分	予算額	説 明
図書収集整理閲覧事業	6,922	資料等の収集・閲覧等
文化資料収集展示事業	58,523	美術・工芸、伝統産業の現物資料の保存・展示
歴史資料収集公開事業	1,629	古文書、行政文書の収集・整理等
重要文化財京都府行政文書修理事業費	8,000	京都府行政文書の修理・補修費用
新総合資料館(仮称)統合情報システム整備費	46,442	所蔵資料の検索を容易にする統合情報システムの構築等
京都学・歴彩館展示室運営事業費	5,900	美術工芸品や貴重な文書資料等の優品を展示室において展示
国際京都学活動推進事業費	13,000	京都の歴史、文化に関するフォーラム等を実施し、国内外の大学や研究機関との研究ネットワークを構築
計	140,416	

* 管理費を除く

18 平成28年度の主な活動

平成28年

28. 4. 15 京都府立大学協同研究（地域史研究）
28. 4. 22 京都府立大学協同研究（地域史研究）
28. 5. 6 京都府立大学協同研究（地域史研究）
28. 5. 12 館外講座『明治・大正の府庁界限などー近代の黎明「あさが来た」の時代～大正大礼（1915）ー』
資料紹介コーナー「絵本太閤記に見る真田幸村周辺の人々」（～6月7日）
28. 5. 13 京都ノートルダム女子大学見学
京都府立大学協同研究（地域史研究）
28. 5. 27 京都府立大学協同研究（地域史研究）
28. 6. 3 東京文化財研究所視察
京都府立大学協同研究（地域史研究）
28. 6. 7 京都大学大学院教育学研究課見学
28. 6. 9 資料紹介コーナー「森の京都～豊かな自然の恵み～」（～9月13日）
28. 6. 10 全国公文書館長会議（東京都）
京都府立大学協同研究（地域史研究）
28. 6. 14 全史料協近畿部会総会・例会
28. 6. 17 京都府立大学協同研究（地域史研究）
28. 7. 5 京都府立大学古文書演習
28. 7. 7 国立国会図書館長との懇談会（東京都）
28. 7. 8 京都府立大学協同研究（地域史研究）
全国公共図書館協議会総会（東京都）
京都府立京都学・歴彩館 建物竣工
28. 7. 15 京都府立大学史料演習
京都府立大学協同研究（地域史研究）
28. 7. 21 行政文書重文簿冊修理事業監督指導
28. 7. 22 京都府立大学共同研究（地域史研究）
28. 8. 4 寺子屋講座「学ぼう！江戸の算術～算木（さんぎ）を使ってみよう～」
28. 8. 20 全史料協近畿部会例会（宇治田原町）
28. 9. 13 京都府立総合資料館閉館
「ありがとう」資料館ファイナルコンサート
館内ツアー
ファイナルギャラリートーク
28. 9. 20 新館移転作業開始
28. 10. 29 寺子屋講座「京都の歴史を歩こう！ー紫野編ー」
28. 11. 5 館外講座「地方紙と業界紙から探る戦後京都のプロ野球興行ー大陽ロビンス、松竹ロビンスを中心としてー」

- 28. 11. 16 全史料協近畿部会例会（滋賀県）
- 28. 11. 30 京都府立総合資料館条例 廃止
- 28. 12. 1 京都府立京都学・歴彩館条例 施行
- 28. 12. 4 館外講座「乙訓における戦前の鉄道計画～新京阪山科線と洛西線～」
- 28. 12. 8 行政文書重文簿冊修理事業監督指導
- 28. 12. 23 京都府立京都学・歴彩館 一部オープン（1階交流フロア）
オープニング記念式典・記念講演会
※H29. 4のグランドオープンに向け、引き続き資料・図書を移転

平成29年

- 29. 1. 6 「丹波」共同研究会（中間報告会）
- 29. 1. 20 第9回企画立案会議（京都学部門）
- 29. 1. 27 京都を学ぶセミナー「洛北編」第1回開催
- 29. 2. 5 第7回陽明文庫講座「第2講陽明文庫所蔵『源氏物語』をめぐって」（東京大学史料編纂所共催）
- 29. 2. 10 京都を学ぶセミナー「洛北編」第2回開催
- 29. 2. 18 東寺百合文書シンポジウム『ひらけ！歴史の玉手箱古文書から見える「昔ニッポン」』
- 29. 2. 24 行政文書重文簿冊修理事業監督指導
- 29. 3. 1 京都文化博物館にて、『ユネスコ「世界の記憶」東寺百合文書展一人・物・情報が行き交う中世ー』の展示（～4月23日）
- 29. 3. 10 京都を学ぶセミナー「洛北編」第3回開催
- 29. 3. 11 全史料協近畿部会例会（京都市内）
- 29. 3. 19 国際京都学シンポジウム開催

19 沿革

- 昭和 34. 34年度予算に調査・準備費を計上
- 35. 6. 6 「建設のための懇話会」を設置
- 36. 12. 8 起工式
- 37. 11. 10 定礎式
- 38. 10. 28 設置条例制定・施行（京都府立総合資料館条例・昭和38年条例第29号）
- 38. 11. 15 開館式及び祝賀会を挙げる。翌16日から閲覧業務等開始（庶務部に庶務係・経理係、資料部に展示係・資料係、図書部に収書係・目録係・閲覧第一係・閲覧第二係・閲覧第三係を置く。3部9係）
- 39. 2. 21 文献資料の複写業務を開始
- 39. 4. 1 機構改革（係を課とし、3部9課）
- 39. 11. 14 「京都府立総合資料館友の会」発足

40. 4 京都府開庁 100 年を記念して京都府百年史を編さんすることとなり、事業を開始
41. 6 民謡調査を開始
42. 8. 11 「東寺百合文書」を受入れ、整理・補修業務を開始
43. 4. 23 京都府百年史編さん事業の本格化に伴い百年史編さん室を設置（3部1室9課）
43. 11 昔話調査を開始
45. 4 『京都新聞』（明治18年～昭和44年）のマイクロフィルム作成事業を開始
45. 8. 6 「古文書講習会」を開始
45. 8. 11 「東寺百合文書」及びその他の古文書の整理・保存事業を進めるため資料部に古文書課を設置するとともに、組織を再編（庶務部に庶務課、資料部に資料課・古文書課、図書部に整理課・閲覧課、百年史編さん室の3部1室5課）
45. 9. 22 「館蔵品陳列場」（現・2階展示室）を開設
45. 12 資料の寄託制度を開始
46. 1. 1 『資料館だより』創刊
46. 6 新聞マイクロフィルム版等の閲覧・複写業務を開始
46. 7. 15 第2収蔵庫完成（鉄筋コンクリート2階建 延 274.76 m²）
46. 7 『公開特許公報』『公開実用新案公報』の閲覧業務を開始
47. 3. 31 『資料館紀要』創刊
47. 6. 1 京都府百年史編さん事業完了のため、百年史編さん室を廃止。同時に、当館に移管されることになった京都府庁文書を中心に関係資料を収集・整理するため、資料部に行政文書課を設置（3部6課）
48. 3. 30 第3収蔵庫完成（鉄筋コンクリート2階建、恒温恒湿設備、延 1702.18 m²）
48. 6. 16 部制を廃止し、次長を置く。また、組織も6課に再編するとともに、各課に資料主任を置く。（庶務課（庶務係、経理係）、文献第一課、文献第二課、文化資料課、古文書課、行政文書課の6課2係）
48. 11. 15 開館10周年・新収蔵庫竣工記念式典を開催
48. 12 東寺観智院金剛蔵聖教調査を開始
49. 4 有形民俗資料調査を開始
49. 8 教科書を収集
51. 1 「京の百景」を受入れ
51. 5. 26 組織を整理・統合（庶務課（庶務係、経理係）、文献課、文化資料課、歴史資料課の4課2係）

- 51. 1 視覚障害者・身体障害者のため、玄関スロープ設置等の施設整備に着手
- 52. 3 府内市町村行政文書の保存状況調査を開始
- 52. 4 古文書の公開を開始
- 52. 1 古文書所在情報調査を開始
- 53. 3 府内市町村行政文書の保存状況調査を開始
- 55. 1 「東寺百合文書」の公開を開始
- 55. 4 「東寺百合文書」のマイクロ化事業を開始
- 55. 6. 6 「東寺百合文書」が重要文化財に指定される
- 56. 4 近世文書マイクロ写真版の閲覧を開始
- 56. 6. 9 「東寺観智院伝来文書典籍類」が重要文化財に指定される
- 56. 9. 10 第1回「古文書教室」を開催
- 57. 4 古文書センター推進事業に着手
- 57. 7. 4 大閲覧室、軽読書室、学習室、文書閲覧室の日曜日開室を実施し、毎月20日を休室日とする。
- 58. 4 「東寺百合文書」の第2次修理を開始
- 58. 4. 19 「軽読書室」を閉鎖
- 58. 5. 18 「京都府行政情報資料センター」を開設
大閲覧室内に「軽読書コーナー」を設置
- 58. 10. 14 開館20周年記念式典を開催。翌15日に記念講演会を開催
- 59. 4. 1 全国歴史資料保存利用機関連絡協議会に加入
- 59. 4. 14 「革嶋家文書」及び「袈裟禪文銅鐸」が京都府指定文化財に指定される
- 60. 5. 16 府内市町村図書館等を窓口とする館蔵図書の複写受付業務を開始
- 61. 7. 1 国立国会図書館所蔵図書の閲覧利用サービスを開始
- 62. 5. 12 「古文書相談」を開始
- 63. 3. 29 美術工芸・歴史民俗等の現物資料の収集、保存及び展示業務を京都府京都文化博物館（昭和63年10月開館）を運営する財団法人京都文化財団に委託するため、総合資料館条例一部改正条例（昭和63年条例第3号）を制定公布
- 63. 4. 14 ブック・ディテクション・システム（図書持出防止装置）を設置
- 63. 4. 18 文化資料課を廃止（庶務課（庶務係、経理係）、文献課、歴史資料課の3課2係）
美術工芸、歴史民俗等の現物資料の収集、保存及び展示業務を財団法人京都文化財団に委託
- 63. 9. 30 京都府京都文化博物館の開館に伴い、「展示室」を廃止
「京都府行政情報資料センター」を廃止
- 63. 10. 1 京都府情報公開条例の施行に伴い、「府政情報コーナー」を設置

- 平成元. 4 貴重書のマイクロフィルム作成事業を開始
廃止した展示室の書庫・文書庫への改修など収蔵施設の整備を実施
- 元. 10. 20 第1回「文化講座」を開催
2. 10. 8 古文書のマイクロフィルム公開を開始
3. 5 明治期京都府庁文書（永年文書）の緊急補修事業を開始
4. 4. 1 日本図書館協会に再加入
4. 7. 1 京都府図書館等連絡協議会に加盟する図書館等との資料貸借業務を開始
5. 4. 1 定例休館日を毎月20日から毎月第2水曜日に変更
5. 5. 20 全国歴史資料保存利用機関連絡協議会近畿部会に設立加入
5. 11. 7 開館30周年記念事業「北山まつり」を開催
6. 6. 4 「特別資料室」を開設し、吉田文庫を公開
9. 4 京都府立図書館の貴重書デジタル画像作成に資料提供
9. 6. 30 「東寺百合文書」が国宝に指定される
10. 3. 31 「京都府知的所有権センター」の開設により、「特許資料室」を閉鎖
10. 12 閲覧可能な古文書の所在情報調査を開始
11. 4 京都府20世紀歴史資料保存事業を開始
12. 4 京都府20世紀資料整理事業を開始
12. 9. 30 「特別資料室」を閉鎖
12. 10. 1 京都府立図書館への図書資料の一部移管作業、館内施設整備等のため、大閲覧室及び学習室を休室
12. 12. 28 文書閲覧室を含め全館休館
13. 3. 23 「京都府行政文書」が府指定有形文化財に指定される
13. 5. 11 京都府立図書館の新築開館に合わせ、当館も再開館（大閲覧室を図書閲覧室に名称変更、文書閲覧室を4階から3階へ移設、図書検索・貴重書画像閲覧の端末設置、木曜講座の開催等）
13. 7. 2 京都府図書館総合目録ネットワークシステムによる相互貸借を開始
13. 10. 9 国立国会図書館総合目録ネットワークに参加
14. 5. 23 「総合資料館府民講座」を開始
14. 6. 26 「京都府行政文書」が重要文化財に指定される
14. 7. 19 ホームページを開設
14. 11. 26 「古文書解読講座」を開始
14. 12 「京の文化振興プラン（その1）－京都府が所蔵・保管する貴重な資料の活用方策－」策定
15. 5. 29 「革嶋家文書」が重要文化財に指定される
15. 11. 15 開館40周年を迎える
16. 3. 25 東寺百合文書翻刻史料集第1巻を刊行。記念シンポジウムを開催

- 16.4.1 「総合資料館所蔵資料データベース、—京都北山アーカイブズ—」の公開開始
- 19.12 総合資料館あり方検討プラン策定
- 21.1 総合資料館基本構想（案）取りまとめ
- 21.3.24 古久保家文書が府指定有形文化財に指定
- 21.3.27 府立大学、府立植物園、府立総合資料館の3機関が包括協定を締結
- 21.8.25 「古文書入門教室」を開始
- 21.9.10 「歴史資料カレッジ」を開始
- 21.10 北山文化環境ゾーン整備推進委員会による「北山文化環境ゾーン整備推進についての検討報告」公表
- 21.10.17 植物園、府立大学と共同で包括協定締結記念事業「北山から未来へ」を開催
~11.26
- 22.5 「北山文化環境ゾーン整備委員会における検討状況」公表
- 23.4.6 東日本大震災 災害ボランティア派遣
~12
- 23.5.26
~6.2
- 23.7.1 画像データ閲覧システム「京の記憶ライブラリ」を公開
- 23.7.22 京都府新総合資料館（仮称）公募型設計競技第1次審査の結果公表
- 23.10.14 京都府新総合資料館（仮称）公募型設計競技の結果公表
- 23.11.16 新資料館設計協議結果展
~22
- 24.5.16 国際京都学センターの開設準備のための府立大学と総合資料館の共同研究（ACTR）を開始
- 24.10.2 国際京都学センターの開設に向けて「京都学へのいざない講座」を開始
- 24.12 新総合資料館（仮称）建築工事の実施設計を策定
- 25.5.21 館所蔵の国宝「東寺百合文書」がユネスコ記憶遺産の登録候補として日本ユネスコ国内委員会から推薦決定
- 25.7.4 新総合資料館（仮称）建築工事契約・着工
- 25.11.15 開館50周年を迎える
- 25.11.16 開館50周年記念シンポジウムを開催
- 26.3.3 「東寺百合文書WEB」公開開始
- 26.3 日本ユネスコ国内委員会から記憶遺産登録に向けての推薦書をユネスコへ提出
- 26.6.12 「東寺百合文書」が日本ユネスコ国内委員会より世界記憶遺産登録候補として選定

- 26.11.7 Library of the Year 2014 大賞受賞
- 27.10.10 「東寺百合文書」がユネスコ世界記憶遺産に登録
- 27.11.10 「京の記憶アーカイブ」公開開始
- 27.11.12 「国立国会図書館デジタル化資料送信サービス」開始
- 28.7.8 京都府新総合資料館(仮称)棟 引渡
- 28.9.13 京都府立総合資料館 閉館
- 28.12.1 京都府立京都学・歴彩館 条例施行
- 28.12.23 京都府立京都学・歴彩館 一部オープン

(参考資料)

館蔵資料の国宝等指定一覧（平成29年3月31日現在）

No.	種別	資料名	点数等	概要
1	国宝 (平9.6.30 指定)	東寺百合文書	※ 18,646点	京都市南区の東寺（教王護国寺）に伝えられた文書で、奈良時代から江戸時代初期に至る約1,000年間の文書群です。 内容は宗教活動、寺院経済、荘園経営など中世史研究等の基本資料で、昭和42年、文化財保護を目的に京都府が購入しました。
	ユネスコ 「世界の記憶」 (平27.10.10 登録)			
2	重要文化財 (昭56.6.9 指定)	東寺観智院伝来 文書典籍類	57点	東寺の子院である観智院の金剛蔵に伝わった中世資料で、東寺百合文書同様、貴重な学術資料です。なお、本典籍類は同文書と同時に購入しました。
3	重要文化財 (平14.6.26 指定)	京都府行政文書	15,407点	京都府が行政を行うために管理保存してきた京都府の公文書のうち、京都府立庁前年の慶応3(1867)年から昭和21年度までの文書で、近代の政治、歴史、文化を知り得る貴重な資料です。
4	重要文化財 (平15.5.29 指定)	革嶋家文書	2,459通	京都市西京区川島の革嶋家に伝来した文書で、昭和49年、故革嶋藤三郎氏から寄贈されたものです。鎌倉時代から大正年間の約800年に及ぶ文書群で、革嶋家の歴史を物語るものです。
5	重要文化財 (昭43.4.25 指定)	池 大雅 「柳下童子図 屏風」	1点	江戸時代の画家で、日本の文人画の大成者・池大雅が描いた屏風絵です。平成7年、財団法人池大雅美術館（佐々木もと子館長）から京都府に寄贈された73件、85点に及ぶ大雅の絵画、書跡、関係資料のうちの1点です。
6	府指定有形 文化財 (昭59.4.14 指定)	袈裟禪文銅鐸	4口	昭和38年に、京都市右京区梅ヶ畑の宅地造成工事現場から発見された銅鐸で、昭和42年に京都府の所蔵になりました。型式の古さ、「入れ子」の状態での発見、同范鐸の存在など、学術的価値の高いものです。
7	府指定有形 文化財 (平21.3.24 指定)	古久保家文書	266点	寛文8(1668)年以来、代々上京下西陣組の町代を勤めた古久保家に伝わった古文書です。町代は江戸幕府の京都町奉行所と京都市中の町との間の諸事務を勤めました。御触留、町代の公事番所勤番日記等があります。

※東寺百合文書：18,705点のうち、国宝が18,646点、重要文化財が57点（東寺観智院伝来文書典籍類）、未指定が2点。

